

学校法人 双葉学園

福岡デザイン専門学校

講 義 要 項

目次

■基礎デザインプログラム

デザイン教養Ⅰ	1
デザイン特講	2
ことば表現	3
ドローイング	4
平面表現	5
立体表現	6
視覚情報デザイン基礎	7
カタチ・空間デザイン基礎	8
しくみデザイン基礎	9
コンピュータ基礎Ⅰ	10
コンピュータ基礎Ⅱ	11
ビジュアル感覚表現	12
グラフィック・編集Ⅰ	13
Web・映像Ⅰ	14
しくみ・企画演習Ⅰ	15
パッケージデザイン基礎	16
イラスト・アート基礎	17
コンピュータ基礎Ⅲ	18
カタチ・空間感覚表現	19
建築・インテリアデザイン	20
家具・プロダクトデザイン	21
CAD	22
デジタルモデリングⅠ	23
製図技法	24

■実践デザインプログラム

グラフィック・編集ⅡA	26
グラフィック・編集ⅢA	27
グラフィック・編集ⅡB	28
グラフィック・編集ⅢB	29
グラフィック・編集ⅡC	30
グラフィック・編集ⅢC	31
グラフィック・編集ⅡD	32
グラフィック・編集ⅢD	33
Web・映像ⅡA	34
Web・映像ⅢA	35
Web・映像ⅡB	36
Web・映像ⅢB	37
デザイン教養Ⅱ	38

パッケージデザインⅠ	39
パッケージデザインⅡ	40
映像Ⅰ	41
映像Ⅱ	42
イラスト・アートⅠ	43
イラスト・アートⅡ	44
CGⅠ	45
CGⅡ	46
WebⅠ	47
WebⅡ	48
アート表現Ⅰ	49
アート表現Ⅱ	50
タイポグラフィⅠ	51
実践デザインⅠ	51
タイポグラフィⅡ	52
コピーライティング	53
アニメーションⅠ	54
アニメーションⅡ	55
しくみ・企画演習Ⅱ	56
地域デザインⅠ	57
マネジメント研究	58
しくみ・企画演習Ⅲ	59
インテリアデザインⅠ	60
インテリアデザインⅡ	61
スタイリングデザイン	62
スペースデザインⅠ	63
スペースデザインⅡ	64
住宅設計Ⅰ	65
住宅設計Ⅱ	66
構造プロセス	67
建築材料	68
建築法規	69
建築設計Ⅰ	70
建築設計Ⅱ	71
施工プロセス	72
設備プラン	73
家具デザインⅠ	74
家具デザインⅡ	75
プロダクトデザインⅠ	76
プロダクトデザインⅡ	77
素材・加工演習Ⅰ	78

空間家具演習Ⅰ	79
製図演習Ⅰ	80
デジタルモデリングⅠ	81
造形演習	82
家具構造演習	83
製図演習Ⅱ	84
エコパッケージデザイン	85
プラスデザイン	86
総合造形Ⅰ	87
総合造形Ⅱ	88
自主研究Ⅰ	89
自主研究Ⅱ	90
ポートフォリオ制作	91

■応用デザインプログラム

グラフィック・編集ⅣA	93
グラフィック・編集ⅣA	94
グラフィック・編集ⅣB	95
グラフィック・編集ⅣB	96
グラフィック・編集ⅣC	97
グラフィック・編集ⅣC	98
グラフィック・編集ⅣD	99
グラフィック・編集ⅣD	100
Web・映像ⅣA	101
Web・映像ⅣA	102
Web・映像ⅣB	103
Web・映像ⅣB	104
パッケージデザインⅢ	105
パッケージデザインⅣ	106
映像Ⅲ	107
映像Ⅳ	108
イラスト・アートⅢ	109
イラスト・アートⅣ	110
CGⅢ	111
CGⅣ	112
WebⅢ	113
WebⅣ	114
アート表現Ⅲ	115
アート表現Ⅳ	116
タイポグラフィⅢ	117
タイポグラフィⅣ	118
アニメーションⅢ	119

しくみ・企画演習Ⅳ	120
地域デザインⅡ	121
リノベーションデザインⅠ	122
演出デザイン	123
リノベーションデザインⅡ	124
建築設計Ⅲ	125
建築設計Ⅳ	126
パブリックスペースデザイン	127
図面演習	128
モデリング演習	129
プロダクトデザインⅢ	130
家具デザインⅢ	131
素材・加工演習Ⅱ	132
素材・加工演習Ⅲ	133
空間家具演習Ⅱ	134
製図演習Ⅲ	135
デジタルモデリングⅢ	136
制作図面演習	137
自主研究Ⅲ	138
総合造形Ⅲ	139
プレゼンテーション演習	140
卒業制作	141

■研究デザインプログラム

テーマ研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	143
マネージメント	144
セルフプロデュースⅠ	145
修了研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	143
セルフプロデュースⅡ	144
プレゼンテーション	145

■一般教養

実践英語（前期）	151
実践英語（後期）	152

■集中講義

製図	154
建築構造演習	155
測量実習	156

基礎デザインプログラム

《 対象学科・学年 》

クリエイティブデザイン学科 1年次

イノベティブデザイン学科

科目名	デザイン教養Ⅰ	担当教員	全教員
-----	---------	------	-----

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	1
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	デザインの歴史、著名なデザイン・デザイナーを紹介。身の回りにあるデザインを分析し、基本的な考え方、発想法を学ぶ。
到達目標	デザインの携わる仕事をしていく上で、必要なデザイン教養を身につける。日常に溢れるデザインされたモノ・コトを観察、分析し、そのデザインの機能性や効果を理解できる能力を身につける。デザイナーとしての社会性、コミュニケーション能力の第一歩を身につける。
評価方法	出席状況、提出物、プレゼンテーション、筆記試験で総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	

授業計画	1	デザイナーの仕事とは
	2	各デザイン分野の歴史
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	デザイナー・デザインの探求
	8	〃
	9	〃
	10	デザイン分析
	11	〃
	12	観察すること
	13	発想法
	14	デザイナーの仕事
	15	まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	デザイン特講	担当教員	寒竹美佐子
-----	--------	------	-------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	1. 色彩の重要性やその役割を理解し、カラーシステム・配色調和・色彩効果等を理解する。 2. こだわりの大切さ、感性とは何かを考える。
到達目標	主にデザインに重要な要素である色彩に関する知識を身に付ける。また、デザインの表現方法としての技術を身に付ける。
評価方法	出席状況、取り組み姿勢、提出物で総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	寒竹美佐子：インテリアディレクター、トータルカラーアナリスト／株式会社 ZephyrDesign 代表取締役。住まい・商業空間等のインテリアデザイン及び施工業務、モデルルームのトータルプロデュース・売上 UP の空間コンサルティング等空間デザインに関する業務全般を手がける。

授業計画	1	色のなりたち
	2	〃
	3	色の知覚効果
	4	〃
	5	色の心理的効果
	6	〃
	7	実習課題
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	色彩調和
	12	〃
	13	実習課題
	14	〃
	15	まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	ことばと表現	担当教員	佐藤 渉
-----	--------	------	------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	1
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	デザインを学びに来ている学生に対し、コミュニケーションの第一ツールである「ことば」の扱いの基礎を教える授業。ことばを学ぶことが自らの世界を広げ、人とのコミュニケーションの第一歩になることを知る。
到達目標	ことばに親しみ、文章（本）を読む習慣をつける。
評価方法	演習課題の採点による。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	編集者・ライター。企業広報の支援を行う専門会社にて編集ライターとして活動。その後、独立し企業や自治体の情報発信サポート、コンセプト整理、パーパス策定などを行う。ライターとして、雑誌「BRUTUS」「STANDART」などで音楽と旅、酒とコーヒー分野を主に執筆。講師業として、名古屋市島民ライター養成講座講師など。

授業計画	1	ことばをまなぶ意味
	2	読む、聞く、書く
	3	読む実践（1
	4	読む実践（2
	5	読む実践（3
	6	聞く実践（1
	7	聞く実践（2
	8	聞く実践（3
	9	書く実践（1
	10	書く実践（2
	11	書く実践（3
	12	語彙
	13	比喩、レトリック、表象
	14	ことばをまなぶ意味
	15	読む、聞く、書く

[福岡デザイン専門学校]

科目名	ドローイング	担当教員	中嶋尚孝・永井直仁・田中由海
-----	--------	------	----------------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	造形基礎		

授業概要	様々な気持ちを込めて線を描くことから始め、輪郭線、稜線など解釈、構図の大切さを理解する。大きさの違う立方体を描きながら、パース、陰影、影の関係を理解する。それぞれのイメージする心象、感じたものを伝える表現力を身に付ける。 ※心象(しんしょう)…心に浮かぶ姿や形
到達目標	アイデアやデザインを他者に伝えるには、スケッチやドローイングは有効な手段のひとつです。また、自身のアイデアを形に展開する過程においても有用です。ドローイングを通してデザイナーが持つべき、形の本質、成り立ちを読み取る力、表現力を身につけます。
評価方法	①観察力が身についているか ②パースが理解しているか ③光、陰影、影の関係が理解しているか ④イメージするものを伝える表現力が身についているか 作品へのこだわり出席状況、および積極的な授業参加を総合的に判断します。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布 各自、必要に応じて資料、テキストなどを準備すること。
教員略歴 (主指導)	永井直仁：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。デザイナー、ディレクター／total design laboratory calm 設立。建築パース、店舗デザイン、グラフィックイラストなどに携わる。オリジナル家具やプロダクトのセレクトショップの lifestyle shop 運営、ディレクションを行う。

授業計画	1	表現における線の意味と形とは。
	2	「手の表情」をドローイング
	3	〃
	4	「植物の表情」をドローイング
	5	〃
	6	パースとは。違ったスケールの立方体を描く
	7	〃 10 cm、1m、10mの立方体
	8	硬い立方体と柔らかい円柱
	9	〃
	10	屋外スケッチ
	11	〃
	12	「ミクロとマクロ」をテーマにドローイング
	13	〃
	14	人物心象ドローイング
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	平面表現	担当教員	中嶋尚孝・永井直仁・田中由海
-----	------	------	----------------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	造形基礎		

授業概要	色彩や形や構成による視覚的な効果を理解し、視覚意外の感覚の視覚化を図ったり、意識や感情の見える化を体系的に考え、平面表現で伝達する力を身につけます。
到達目標	配色などの色彩効果を理解しながら、様々な素材体験や構成課題、自由表現を通して、発想力、展開力、表現力を追求し、自己の持つ感性の確認や表現力の獲得を目指します。
評価方法	発想のユニークさ、こだわり方、提出作品の完成度。 出席状況、課題に取り組む姿勢、これらを総合的に判断し評価します。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布 過去の学生の優秀作品
教員略歴 (主指導)	永井直仁：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。デザイナー、ディレクター／total design laboratory calm 設立。建築パース、店舗デザイン、グラフィックイラストなどに携わる。オリジナル家具やプロダクトのセレクトショップの lifestyle shop 運営、ディレクションを行う。

授業計画	1	視覚表現について（レクチャー）
	2	色と形の観察と表現
	3	色彩構成（コラージュ表現）
	4	〃 講評
	5	色彩と配色の効果（レクチャー）
	6	配色トレーニング
	7	〃 講評
	8	色彩構成（具象のイメージ化）
	9	〃 講評
	10	色彩構成（抽象のイメージ化）
	11	〃 講評
	12	線による表現
	13	〃 講評
	14	色彩表現（五感のイメージ化）
	15	〃 講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	立体表現	担当教員	中嶋尚孝・永井直仁
-----	------	------	-----------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	造形基礎		

授業概要	(例) 課題1 風には微風、優しい風、柔らかな風、強い風のように強弱だけでなく、春風、北風、秋風のように季節を感じさせる風など様々な風があります。そのような様々な風も風自体は目に見えませんが、風の起こす現象によって私たちは風の何かを感じています。風を作品に落とし込むとき、現象をつくりすぎても風は感じ難くなります。あなたの伝えたい風が伝わるように、様々な素材(材料)を通して試行錯誤を繰り返してください。
到達目標	今まで意識されなかった“モノ”、“こと”を深く意識することの大切さを学びます。自由な発想をカタチ(立体物)にするため、様々な素材を通してアイデアを作品に変える閃き、柔軟性、展開力を身につけます。
評価方法	着眼点の独自性と発想のユニークさ。 提出作品の完成度。 制作過程における閃き、柔軟性、展開力、集中力、こだわりを総合的に判断する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布 各自、必要に応じて資料、テキストなどを準備すること。
教員略歴 (主指導)	中嶋尚孝：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。美術系予備校、大学、短大などで、デッサンや立体構成、平面構成、金属工芸など指導。鋳造作品(ブロンズ、ステンレス)の制作。彫刻、モニュメント、聖火台、プロダクトデザイン、住宅、空間デザインなどの企画、制作を手掛ける。

授業計画	1	立体表現とは(素材と質感)
	2	魅力的な立体物の収集
	3	「風」をテーマに立体をつくる(素材自由)
	4	〃
	5	〃 講評会
	6	空間にリズムを創る(針金)
	7	〃
	8	〃 講評会
	9	時間をデザインする(素材自由)
	10	〃 ※数字を使わない
	11	〃 講評会
	12	硬いと柔らかいをテーマに立体構成(ケント紙)
	13	〃
	14	〃
	15	〃 講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	視覚情報デザイン基礎	担当教員	西畑晴美・畑中健太郎
-----	------------	------	------------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	基礎となる平面（紙面）構成で何を伝えたいのかをチラシ、DM、冊子などの印刷物を使い企画の考え方から作業に使う道具の使い方を鍛えます。自分の手を使い手描きラフの制作、その中で文字や写真をどのようにレイアウトするのかを繰り返しトレーニングをし身に付けていきます。また、印刷や製本方法、それらに関する専門用語やDTPに関する幅広い知識の習得します。
到達目標	何を伝えたいのか、どのように制作したいのか、どんな完成になるのかを自分の手で描けること。その為のコンセプト・企画の考え方企画設定などの考え方を鍛え、制作実技も身に付ける。
評価方法	練習課題、応用課題の制作取り組みやこだわり方。 課題の理解度、提出期限、授業態度、出席状況
テキスト 参考書等	デザイナーズハンドブック これだけは知っていききたいDTP・印刷に基礎知識 必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	西畑晴美：本校学校長。大阪芸術大学非常勤講師。グラフィックデザイナー・シューズデザイナー・ギフトラッピングコーディネーター。シューズメーカーにてシューズデザイン、企画、試作、パターン制作等を行う。産学連携事業で商品パッケージ・ラベルデザインを指導。

授業計画	1	DTP用語解説 道具の解説
	2	バランストレーニング 紙どり・図形を使ったレイアウト
	3	文字を使ったレイアウトトレーニング
	4	文字・写真を使ったレイアウトトレーニング
	5	素材を使ったレイアウトトレーニングⅠ
	6	素材を使ったレイアウトトレーニングⅡ
	7	ラフ制作
	8	ラフ・カラーラフ制作
	9	印刷について（印刷概論）
	10	リズムとバランス 線を使ったレイアウト
	11	リズムとバランス 線を使ったレイアウト
	12	写真と文字を使ったレイアウト
	13	写真と文字を使ったレイアウト
	14	DM制作
	15	冊子制作

[福岡デザイン専門学校]

科目名	カタチ・空間デザイン基礎	担当教員	植村明広・安田大信
-----	--------------	------	-----------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	建築・スペース・インテリア・家具・プロダクトなど設計分野の仕事内容を説明する。空間とプロダクトの演習課題を通して、「ものづくり」の面白さ・奥深さに触れ、楽しみながら発想することの大切さを学んでいく。
到達目標	分野の仕事を理解する。 豊かな発想力を身に付ける。
評価方法	着眼点の独自性と発想のユニークさ。 制作過程における閃き、柔軟性、展開力、集中力、こだわり度合。 作品の完成度。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	植村明広：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	カタチ・空間デザイン分野とは
	2	テーマにそって素敵な家具をつくる
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	講評
	9	テーマにそって魅力的な空間をつくる
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	講評・総括

[福岡デザイン専門学校]

科目名	しくみデザイン基礎	担当教員	武永茂久
-----	-----------	------	------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	課題1：大成功した自分の未来を想像し、ビジョンを示す（バックキャスト） 課題2：幸せとは？人生とは？命とは？など普遍的哲学テーマを題材としたモチーフを提示。 グランドテーマをベースとしたグループ討議を通して本質的価値の抽出とそれを可視化する表現の工夫研究。（グループ作業）
到達目標	・「考える」⇔「表現する」の往復を通して、自分のアイデンティティを考察し、理解を深める。 ・共同作業によるコミュニケーション能力の向上と自他の存在承認、価値共有能力の開発。 ・デザイン概念の拡大。（デザイン＝表現だけではなく、思考も含め広いデザイン概念を持つ）
評価方法	課題1：学生間による共感の可否で採点。課題2：最終制作物によるグループ評価。出席、授業態度、グループ内作業の貢献度など個人評価を加味し総合評価。評価ポイント：グランドテーマについての咀嚼度。テーマの設定とそれを表現するうえでの工夫のあり方。熱意と努力。
テキスト 参考書等	「大きな木（絵本）」 「葉っぱのフレディ（絵本）」 「進化思考」など必要に応じて使用する。
教員略歴	武永デザイン事務所代表（グラフィックデザイナー、JAGDA正会員）グラフィックを主体としたコミュニケーションデザインの立場から企業や店舗、商品などのブランディングや広報プロデュースに従事。また、デザインを通しての教育、啓発活動にも関わっている。

授業計画	1	オリエンテーション・アンケート
	2	課題1：未来ビジョン制作（時空間マップによる自己分析）
	3	〃
	4	プレゼン＆講評
	5	課題2：グループ課題オリエン、講義＋ワークショップ
	6	グループセッション（1）・・・仮グループ
	7	企画プレゼン
	8	グループセッション（2）・・・本制作グループ
	9	制作
	10	〃
	11	〃
	12	中間プレゼンテーション
	13	〃
	14	〃
	15	最終プレゼンテーション＆講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	コンピュータ基礎Ⅰ	担当教員	安田大信
-----	-----------	------	------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	コンピュータの基礎知識、基本操作、周辺機器の扱い方を学ぶ。 図面の基礎、ポートフォリオの作成方法を学びながら操作の習熟を図る。
到達目標	各ソフトの基本的な操作方法を習得し、描画力、表現力を身に付けること。 図面表現の基礎的な力を付け、思考手段の幅を広げること。 自身の作品を発信する方法を身に付けること。
評価方法	① 練習問題、応用課題の達成度 ② 課題を指定の場所に、指定した方法で期日までに提出できているか。 ③ 出席状況、授業態度 これらを総合的に判断し、評価します。
テキスト 参考書等	必要時解説プリント配布
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	コンピュータ、周辺機器の基本操作
	2	ソフトのインストール、解説
	3	Illustrator 演習（描画）
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	Illustrator 演習（図法）
	8	〃
	9	〃
	10	Photoshop 演習（レタッチ）
	11	〃
	12	Photoshop 演習（描画）
	13	〃
	14	ポートフォリオ制作
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	コンピュータ基礎Ⅱ	担当教員	畑中健太郎
-----	-----------	------	-------

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	デザインの制作全般で必要となるコンピューターと周辺機器の知識と操作方法、特に Adobe Illustrator、Photoshop を中心に、それらのソフトを早く正確に操作する方法を習得します。
到達目標	自分の思い通りのビジュアルをどうすれば表現できるかを思考し、そのために必要な最短の方法を選択できるようにします。また、今後のソフトウェアや機器のアップデートに備え、自ら調べ解決できる対応力を身につけます。
評価方法	① 練習問題、応用課題の達成度 ② 課題を指定の場所に、指定した方法で期日までに提出できているか。 ③ 出席状況、授業態度 これらを総合的に判断し、評価します。
テキスト 参考書等	必要時解説プリント配布
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。施設、飲食店、イベントなどのグラフィックデザイン、社会福祉法人の商品デザインなどを手掛ける。

授業計画	1	コンピューター、周辺機器の基本操作
	2	ソフトのインストール、解説
	3	Illustrator 演習（基本操作）
	4	〃
	5	〃
	6	Illustrator 演習、課題制作（印刷物）
	7	〃
	8	〃
	9	課題発表
	10	Illustrator 演習、課題制作（印刷物）
	11	〃
	12	〃
	13	Photoshop 演習（レタッチ）
	14	〃
	15	課題発表

[福岡デザイン専門学校]

科目名	ビジュアル感覚表現	担当教員	永井直仁・田中由海
-----	-----------	------	-----------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	造形基礎		

授業概要	前期の平面表現で学んだ基礎を元に、感情、意図、想像など、目には見えない対象を、絵具などの色材や紙など、様々な素材を用いて視覚的に認知できるものに翻訳する課題を中心に学習します。英文のロゴ制作を通して、タイポグラフィーの文字骨格の基本を習得します。
到達目標	観察、理解、解釈、表現、伝達への展開力を深め、思考やイメージを視覚化するための基礎的な造形力と表現力を身につけることを目指します。 コミュニケーションデザインとして文字の重要性を理解し、その表現力を身につけます。
評価方法	発想のユニークさ、こだわり方、提出作品の完成度。 出席状況、課題に取り組む姿勢、これらを総合的に判断し評価します。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布 過去の学生の優秀作品 ADC 年鑑、TDC 年鑑、JAGDA 年鑑
教員略歴	永井直仁：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。デザイナー、ディレクター／total design laboratory calm 設立。建築パース、店舗デザイン、グラフィックイラストなどに携わる。オリジナル家具やプロダクトのセレクトショップの lifestyle shop 運営、ディレクションを行う。

授業計画	1	色彩構成（図形からの発想）
	2	〃 講評
	3	線表現の研究
	4	ポスター制作
	5	〃
	6	〃 講評
	7	タイポグラフィーとは
	8	ロゴ制作
	9	〃 講評
	10	進級制作
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーション 講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集Ⅰ	担当教員	武永茂久
-----	------------	------	------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	学生本人が選んだ本（小説）がモチーフ。その本の本質的価値を考え、それにふさわしい顔づくりを行う。（装丁課題）その本を原作とした映画、ドラマ、演劇ができたと仮定してその告知ポスターを制作する。（タイトルデザイン・ロゴマーク） 「私のマチオモイ帖」プログラムを実施。アイデンティティの考察と伝える表現を磨く。
到達目標	自身のアイデンティティを考察し深める。グラフィックを基本としたコミュニケーションデザインの総合的基礎を身に付ける。（的確でユニークな着目、思考力。本質的価値の抽出能力。色やカタチなどの構成力。アイデアを適切に伝える表現力。タイポグラフィへの意識の向上。）
評価方法	出席状況、制作・授業態度、提出作品を総合して評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	武永デザイン事務所代表（グラフィックデザイナー、JAGDA 正会員）グラフィックを主体としたコミュニケーションデザインの立場から企業や店舗、商品などのブランディングや広報プロデュースに従事。また、デザインを通しての教育、啓発活動にも関わっている。

授業計画	1	オリエンテーション（装丁課題）
	2	アイデアスケッチ
	3	制作 +タイポグラフィ実習
	4	プレゼンテーション・講評
	5	ポスター課題
	6	アイデアスケッチ +タイトルデザイン
	7	制作
	8	〃
	9	プレゼンテーション・講評
	10	オリエンテーション（マチオモイ帖課題）
	11	アイデアスケッチ +ブランドロゴデザイン
	12	制作
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーション・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web・映像Ⅰ	担当教員	内田文子・畑中健太郎
-----	---------	------	------------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	Web・映像の基礎知識として Web コンテンツ作成の基本と映像制作の基礎を学びます。
到達目標	Web コンテンツ概念の理解、効果と活用法、コンテンツ作成のための基礎知識の習得。 映像制作ソフトの活用。
評価方法	練習問題の理解度、応用課題の達成度。出席状況、授業態度 これらを総合的に判断し、評価します。
テキスト 参考書等	必要時解説プリント配布
教員略歴 (主指導)	デザイン専門学校卒業後、広告デザイン・イラスト・映像制作を専門に活動。 スーパーロケットプロジェクト主催。(映像、アニメーション、建築)

授業計画	1	Web・映像に関する礎知識
	2	〃
	3	映像ソフト基本操作
	4	撮影した画像(静止画)を使った映像制作・編集作業
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	文字を動かす
	9	モーションタイポグラフィ
	10	〃
	11	発表・講評
	12	テーマに沿った映像を作成する(PV 作成)
	13	〃
	14	〃
	15	発表・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	しくみ・企画演習Ⅰ	担当教員	田所恵介
-----	-----------	------	------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	マーケティング思考とデザイン思考の両面からのデザインアプローチを学び、行動デザイン（しくみで人を動かす）の思考方法を学ぶ。観察や調査から、気づきやリフレーミングによる表現コンセプトの発見、クリエイティブの発想方法を学ぶ。
到達目標	行動観察やマーケティングデータから、クリエイティブ（問題解決）のアイデアを発見する。
評価方法	出席点 45 課題提出評価点 55
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	本校専任教員。広告会社（博報堂・博報堂プロダクツ）において、クリエイティブ、プランナーなどプロモーションプロデュース職に従事。移動体通信事業、クルマ、航空会社、行政サービスなど、パートナー企業の新商品、新サービス開発のブローチを担当。

授業計画	1	しくみをデザインするための、マーケティング思考とデザイン思考
	2	演習：SWOT 分析で強み弱みを知り、クライアント（学生同士）の名刺をデザイン
	3	STP（セグメント、ターゲティング、ポジショニング）で企業分析マップを作る
	4	演習：STP を使って、新しいビジネスモデルをつくってみよう
	5	課題・プレゼンテーション（講評）
	6	サーベいのやり方（web リサーチ、定量調査＝アンケート 定性調査＝インタビュー）
	7	生活者行動観察 スナップ写真から読み取る消費者意識
	8	課題：世界一低い日本人の募金意識を高めるデザイン or パブリックトイレのデザイン
	9	演習：フィールドワーク、観察、問いの発見
	10	問いの発見からリフレーミングへの発想転換方法
	11	デザインスケッチ プロトタイプ制作（グループ評価）
	12	課題：置き去りにされない、使い捨て傘をデザイン
	13	〃
	14	デザインスケッチ、プロトタイプ制作
	15	課題・プレゼンテーション（講評）

[福岡デザイン専門学校]

科目名	パッケージ基礎	担当教員	西畑晴美
-----	---------	------	------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	始めにパッケージとは何か、どのように役立ち機能しているのかを説明し、基本手順・流れを学ぶ。更に、テーマ商品を選び、分析しアイデアを出し、パネルにまとめ模型化する。同時に、仕事の流れとしてマーケティング、プレゼンテーションも行う。
到達目標	パッケージデザインの基本・応用を学び、様々な切り口で進めていき、面白さに触れる。
評価方法	出席状況、取り組む姿勢、作品制作の完成度・アイデ（企画・発想）で総合評価します。
テキスト 参考書等	「パッケージ年鑑」 「紙とコスト」 「紙 基礎造形・芸術・デザイン」
教員略歴	本校学校長。大阪芸術大学非常勤講師。グラフィックデザイナー・シューズデザイナー・ギフトラッピングコーディネーター。シューズメーカーにてシューズデザイン、企画、試作、パターン制作等を行う。産学連携事業で商品パッケージ・ラベルデザインを指導。

授業計画	1	パッケージの機能、基本制作手順の説明
	2	紙を使った立体物の制作（直線・曲線）
	3	丸や多角形で出来るパッケージ
	4	飾りのある箱の制作 テーマに合ったグラフィックの表現ラフ（基礎）
	5	テーマに合ったグラフィックの表現構造（基礎）
	6	テーマに合ったグラフィックの表現完成（基礎）
	7	市場にある基本構造の箱の制作 A～J（10 パターン）
	8	市場にある基本構造の箱の制作 K～P（6 パターン）
	9	立体カード制作（クリスマスカード）
	10	立体カード制作（クリスマスカード）
	11	テーマに合ったグラフィック表現、コンセプト（応用）
	12	テーマに合ったグラフィック表現構造（応用）
	13	テーマに合ったグラフィック表現図面制作（応用）
	14	テーマに合ったグラフィックの表現グラフィック制作（応用）
	15	パッケージの機能、基本制作手順の説明

[福岡デザイン専門学校]

科目名	イラスト・アート基礎	担当教員	伊場芳朗
-----	------------	------	------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	様々な画材や技法を試しながら、テーマに沿って作品を制作していきます。 オリジナルキャラクターの制作や細密表現など、幅広い表現方法から自己の個性を探ります。
到達目標	言葉やイメージを元に、伝達手段としてイラストによる表現力を身につけることを目指します。 様々な画材や表現の体験を通じ、柔軟性、展開力、集中力、こだわりを身につけます。
評価方法	発想のユニークさ、こだわり方、提出作品の完成度。 出席状況、課題に取り組む姿勢、これらを総合的に判断し評価します。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布 過去の学生の優秀作品
教員略歴	本校理事長。大阪芸術大学非常勤講師。美術家。美大受験予備校、大学、高校美術科でデッサンや平面構成、造形や表現技法を指導。個展を中心に様々な企画展に出品。NPO法人FUKUOKAデザインリーグ理事、NPO法人ダーウィンLLPパートナーズメンバー、日韓現代絵画協会会員。

授業計画	1	イラストとアートについて
	2	言葉からイラストへ（色鉛筆）
	3	〃
	4	〃
	5	〃 講評
	6	キャラクターデザイン
	7	〃 講評
	8	想像からイラストへ
	9	〃 講評
	10	細密描写
	11	〃
	12	〃
	13	〃 講評
	14	立体イラスト
	15	〃 講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	コンピュータ基礎Ⅲ	担当教員	畑中健太郎
-----	-----------	------	-------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	前期で基礎を学んだコンピュータやソフトの応用操作の習得。 冊子制作などを通して、実践的なコンピューターの使い方を学びます。
到達目標	Adobe Illustrator、Adobe Photoshop の応用操作を習得する。 特に印刷物制作におけるコンピュータの操作の知識全般の習得を目指します。
評価方法	① 練習問題、応用課題の達成度 ② 課題を指定の場所に、指定した方法で期日までに提出できているか。 ③ 出席状況、授業態度 これらを総合的に判断し、評価します。
テキスト 参考書等	必要時解説プリント配布
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。施設、飲食店、イベントなどのグラフィックデザイン、社会福祉法人の商品デザインなどを手掛ける。

授業計画	1	実技（Illustrator 、 Photoshop ）応用操作
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	課題制作（冊子①）
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	発表・講評
	11	課題制作（冊子②）
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	カタチ・空間感覚表現	担当教員	中嶋尚孝・永井直仁
-----	------------	------	-----------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	造形基礎		

授業概要	立体の構成要素である面、塊と空間との関係を整理、再構築することで、記憶、感情の琴線に触れる形、空間を探ります。身の回りの“もの”を注意深く観察し、数多くのエスキースを展開し、完成度の高い作品を制作します。
到達目標	この授業では、いろいろな素材体験を通して、デザイナーの大切な職能として、いい形、いい空間をつくるための基礎的な力を身につけます。 アイデアを作品に変える閃き、柔軟性、展開力、集中力、こだわりを身につけます。
評価方法	着眼点の独自性と発想のユニークさ。 提出作品の完成度。 制作過程における閃き、柔軟性、展開力、集中力、こだわりを総合的に判断する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布 各自、必要に応じて資料、テキストなどを準備すること。
教員略歴 (主指導)	永井直仁：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。デザイナー、ディレクター／total design laboratory calm 設立。建築パース、店舗デザイン、グラフィックイラストなどに携わる。オリジナル家具やプロダクトのセレクトショップの lifestyle shop 運営、ディレクションを行う。

授業計画	1	造形力とは、立体構成とは
	2	切る、折る、曲げる（ケント紙）
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃 講評会
	7	「飛翔」をテーマにカービング（木材）
	8	〃
	9	〃 講評会
	10	膨らみをテーマに立体を創る（塊材）
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃 講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	建築・インテリアデザイン	担当教員	植村明広
-----	--------------	------	------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	空間や建築が完成するまでの過程、目標を達成するためのコンセプトワークの大切さを学び、そのコンセプトを基にどのようにプランニングしていくかを商業空間の設計を通して学ぶ。また、現地調査の訓練も行い、図面の正しい理解を深める。
到達目標	考えをプランニングにどのように展開するか、基礎力を身につける。 図面の作図能力の向上。
評価方法	コンセプトワークを理解したか。 プランニングの基本を身に付けたか。 正確に図面を書けるようになったか。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	自宅の現調・図面化 平面図
	2	〃 展開図・天井伏図
	3	展示場のブースの設計
	4	〃 平面図
	5	〃 展開図
	6	〃 パース
	7	〃
	8	教室の現調・図面化 平面図
	9	〃 展開図・天井伏図
	10	アパレルショップの設計
	11	〃 平面図
	12	〃
	13	〃 展開図・什器図
	14	〃 パース
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	家具・プロダクトデザイン	担当教員	安田大信
-----	--------------	------	------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	家具やプロダクトのデザインプロセスを学ぶ。 なぜこの形になったのか、必要なディテールなのか、など、自分の感覚をカタチにする作業とデザインを人に伝える表現方法の基礎をつくる。
到達目標	デザインプロセスの基本を身に付ける。 プロトタイプ製作を通じて、コンピュータ上や頭の中のイメージと製作物とのスケール感の違いをつかみ、実素材に触れることで強度や構造、加工特性など、各素材毎の特質を学ぶ。
評価方法	授業態度：積極的に課題に取り組んでいるか。着実な積み上げが出来ているか。 課題評価：アイデアの新規性があるか。課題に対して的確に解答出来ているか。 プレゼンテーションで的確にデザインが伝えられているか。出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	素材・構造演習①
	2	〃
	3	素材・構造演習②
	4	〃 （縮尺模型製作）
	5	〃 （実寸模型製作）
	6	〃
	7	〃 講評
	8	家具デザイン演習
	9	〃
	10	〃
	11	〃 講評
	12	プロダクトデザイン演習
	13	〃
	14	〃
	15	〃 講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	C A D	担当教員	半田明
-----	-------	------	-----

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	デザインの基本である「手を動かす」を主眼に、コンピュータで設計図面を書く、C A Dソフトで各図面を作図しながら、操作方法と概念を習得する。また、製図技法の授業と連動を計り、自作図面の作図を行い、技術の向上を図る。
到達目標	正確な図面の理解。 作図能力の向上。
評価方法	授業態度：積極的に課題に取り組んでいるか。着実な積み上げが出来ているか。 課題評価：提出課題の丁寧さ、正確性。 上記に加え、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	ソフトのマニュアル プリント配付
教員略歴 (主指導)	二級建築士／アメリカ、ポートランドの大学で広告デザインを専攻する。帰国後、建築を学びアトリエ設計事務所へ入社。戸建て住宅やマンションのリノベーションを担当。現在、設計会社にて、学校、ホテル、複合施設など大規模な設計に携わっている。

授業計画	1	「C A D」入門 家具図面
	2	〃
	3	〃
	4	各種建築図面 平面図
	5	〃 〃
	6	〃 立面図・断面図
	7	〃 〃
	8	〃 天井伏図
	9	〃 展開図
	10	自作図面の作成 平面図・配置図
	11	〃 〃
	12	〃 立面図・断面図
	13	〃 〃
	14	〃 矩計図
	15	〃 〃 (印刷・仕上げ)

[福岡デザイン専門学校]

科目名	デジタルモデリング I	担当教員	安田大信
-----	-------------	------	------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	現在、建設分野において2DのCAD以上に必要不可欠になっている3Dソフトの技術。そのため、3Dソフトの基本操作を学び、住宅や店舗のインテリアパース、建築物の外観パースを作成しながら、表現や技術の向上を図る。さらに、画像処理ソフトを使用し、植栽・人・光などの合成や加工を施し、よりリアルなパースの仕上げ方を学ぶ。
到達目標	3Dソフトの理解と技術の修得。 リアルなパースの表現、技術の修得。 空間や建築物の構成やデザインなどを立体的視点で検討し、決断できる能力を身に付ける。
評価方法	授業態度：積極的に課題に取り組んでいるか。着実な積み上げが出来ているか。 課題評価：提出課題の丁寧さ、正確性。 上記に加え、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	Rhinoceros で極める 3D デジタルデザイン
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	「3Dソフト」基本操作
	2	〃
	3	「CAD」平面図作図・3D化
	4	インテリアパースの制作（住宅）
	5	〃
	6	〃 仕上げ
	7	インテリアパースの制作（店舗）
	8	〃
	9	〃 仕上げ
	10	外観パースの制作（建築物）
	11	〃
	12	〃 仕上げ
	13	画像処理ソフト 植栽（外構）
	14	〃 光・人
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	製図技法	担当教員	植村明広
-----	------	------	------

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	道具の使い方、線の引き方、文字の練習、表示記号などの基本を身につけ、図面を書きながら製図の規則、情報などを十分に理解し、図面に慣れ、スケール感をつかむ。また、「木造平屋建住宅」を自ら計画・設計し、関連図面（主に平面図・立面図・断面図・矩計図）を作図する。
到達目標	図面に関する基礎知識・技術を習得する。 正確・明瞭・迅速に書けるようになる。 住宅の計画・設計能力を養い、作図能力を向上させる。
評価方法	丁寧な作図が出来ているか、的確な図面の表現が出来ているか、わかりやすい図面が書けているかなど第三者に伝えることの内容を主に採点。さらに集中力、取り組む姿勢、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	新しい建築の製図 家具デザインと製図 店舗インテリア図面の見方・かき方
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	各図面の書き方・三面図
	2	〃 〃
	3	〃 配置図
	4	〃 平面図（木造）
	5	〃 〃
	6	〃 立面図
	7	〃 断面図・展開図
	8	〃 矩計図
	9	〃 木造と RC 造の違い
	10	木造平屋建住宅のプランニング
	11	図面の作成 平面図・配置図
	12	〃 〃
	13	〃 立面図・断面図
	14	〃 〃
	15	〃 矩計図

[福岡デザイン専門学校]

実践デザインプログラム

《 対象学科・学年 》

クリエイティブデザイン学科 2年次

イノベティブデザイン学科

科目名	グラフィック・編集ⅡA	担当教員	山田英二
-----	-------------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	様々な本や書籍など、ブックデザインについてのポイントを学び、各自が制作した題材に合わせ1冊の本を仕上げます。
到達目標	様々な状況を想定して、実践的な力を身につける。
評価方法	作品の内容、授業への取り組み方、出席状況で総合評価します。
テキスト 参考書等	情報誌、カタログ、パンフレット、雑誌などを随時指示し、各自準備する。
教員略歴	アートディレクター、グラフィックデザイナー／東京にて1998年「ウルトラグラフィックス」を設立、2012年同社退社後、本校特任講師に就任。グラフィックデザインをはじめ、広告・コマーシャル、商品企画開発、プロダクトデザイン、ネットサービスの運営など業種の垣根なく活動。

授業計画	1	フライヤー（リデザイン）
	2	〃
	3	〃
	4	講評
	5	架空会社のブランディング
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	講評
	12	フリーペーパーの表紙（ブランディング）
	13	〃
	14	〃
	15	講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集ⅢA	担当教員	山田英二
-----	-------------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	多様な印刷メディアのレイアウトの基礎、文字の使い方を始め、デザインのポイント学びます。
到達目標	様々な状況を想定して、実践的な力を身につける。
評価方法	作品の内容、授業への取り組み方、出席状況で総合評価します。
テキスト 参考書等	情報誌、カタログ、パンフレット、雑誌などを随時指示し、各自準備する。
教員略歴	アートディレクター、グラフィックデザイナー／東京にて1998年「ウルトラグラフィックス」を設立、2012年同社退社後、本校特任講師に就任。グラフィックデザインをはじめ、広告・コマーシャル、商品企画開発、プロダクトデザイン、ネットサービスの運営など業種の垣根なく活動。

授業計画	1	フリーペーパーの中身（ブランディング）
	2	〃
	3	〃
	4	講評
	5	架空会社のブランディング
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	講評
	10	架空会社のブランディング
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集ⅡB	担当教員	武永茂久
-----	-------------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	・デザインコンペティションへの積極参加。 ・企業タイアップによる実践課題への取り組み。 ・学生発信による課題制作。
到達目標	1：物事の本質を探り、課題解決のための企画力・表現力を身につける。 2：1を通して各々のアイデンティティを考察し、人間力を深めることを目標とする。 3：自主的な課題探求とその解決に取り組む姿勢を育む。
評価方法	提出作品の優劣を基本に、出席状況、授業態度を加味して総合的に評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じて告知。またはプリント配布。
教員略歴	武永デザイン事務所代表（グラフィックデザイナー、JAGDA正会員）グラフィックを主体としたコミュニケーションデザインの立場から企業や店舗、商品などのブランディングや広報プロデュースに従事。また、デザインを通しての教育、啓発活動にも関わっている。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	コンペ出品制作 / 企業課題
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	プレゼン・講評
	8	ブランディング課題 / 企業課題
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼン・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集ⅢB	担当教員	武永茂久
-----	-------------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	・デザインコンペティションへの積極参加。 ・企業タイアップによる実践課題への取り組み。 ・学生発信による課題制作。
到達目標	1：物事の本質を探り、課題解決のための企画力・表現力を身につける。 2：1を通して各々のアイデンティティを考察し、人間力を深めることを目標とする。 3：自主的な課題探求とその解決に取り組む姿勢を育む。
評価方法	提出作品の優劣を基本に、出席状況、授業態度を加味して総合的に評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じて告知。またはプリント配布。
教員略歴	武永デザイン事務所代表（グラフィックデザイナー、JAGDA 正会員）グラフィックを主体としたコミュニケーションデザインの立場から企業や店舗、商品などのブランディングや広報プロデュースに従事。また、デザインを通しての教育、啓発活動にも関わっている。

授業計画	1	コンペ出品制作 / 企業課題
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	プレゼン・講評
	8	ブランディング課題 / 企業課題
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼン・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集ⅡC	担当教員	武藤宏則
-----	-------------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	アイデアを手描きでラフスケッチにまとめて、その考えを相手に的確に伝えてデザインとしてまとめ仕上げる。タイプフェイスや組版の基礎的知識、紙や印刷方法などのノウハウを学びながら、実践的な力と現場で通用するデータ作成のスキルを身につける。
到達目標	レイアウトの基礎、文字の使い方を始め、データ作成のルールなどを守りながら、多様な印刷メディアのデザインを学びます。パソコンだけに頼らず「考えて、まとめて、それをカタチにする」力と、アイデアを人にわかりやすく伝える「コミュニケーション力」を身につける。
評価方法	各課題は、制作物とデータで提出。全員でプレゼンテーションをした後、学生全員で投票・質疑応答をして、その評価と、作品の完成度、授業への取り組み方、出席状況を合わせて総合評価します。
テキスト 参考書等	タイポグラフィの基本ルール 大崎善治著
教員略歴	グラフィックデザイナー、カリグラファー／印刷会社の制作室、デザインプロダクション勤務を経て1997年よりフリーランス。企業の社内報や商品カタログ、パンフレットやパッケージデザインなどグラフィックデザイン全般に携わる。／日本タイポグラフィ協会会員

授業計画	1	自分の氏名でオリジナル文字をつくる
	2	〃
	3	〃
	4	書籍の装丁、中面フォーマットのレイアウト
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	
	12	文字の組版について
	13	〃
	14	「Adobe InDesign」実習
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集ⅢC	担当教員	武藤宏則
-----	-------------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	アイデアを手描きでラフスケッチにまとめて、その考えを相手に的確に伝えてデザインとしてまとめ仕上げる。タイプフェイスや組版の基礎的知識、紙や印刷方法などのノウハウを学びながら、実践的な力と現場で通用するデータ作成のスキルを身につける。
到達目標	レイアウトの基礎、文字の使い方を始め、データ作成のルールなどを守りながら、多様な印刷メディアのデザインを学びます。パソコンだけに頼らず「考えて、まとめて、それをカタチにする」力と、アイデアを人にわかりやすく伝える「コミュニケーション力」を身につける。
評価方法	各課題は、制作物とデータで提出。全員でプレゼンテーションをした後、学生全員で投票・質疑応答をして、その評価と、作品の完成度、授業への取り組み方、出席状況を合わせて総合評価します。
テキスト 参考書等	タイポグラフィの基本ルール 大崎善治著
教員略歴	グラフィックデザイナー、カリグラファー／印刷会社の制作室、デザインプロダクション勤務を経て1997年よりフリーランス。企業の社内報や商品カタログ、パンフレットやパッケージデザインなどグラフィックデザイン全般に携わる。／日本タイポグラフィ協会会員

授業計画	1	タイポグラフィなカレンダー制作
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	タブロイド誌を InDesign で制作
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	1色・2色のデザイン
	15	まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集ⅡD	担当教員	吉田朋史
-----	-------------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	ロゴマーク制作や、タイポグラフィやポスター表現などグラフィックデザインの制作実習。
到達目標	様々なグラフィックデザイン言語を学び、デザインの基礎力と応用力を習得する。
評価方法	提出作品によって下記項目について評価します。 造形の精度・発想力やアイデア・独創性・問題解決力・情報整理・情報設計ができているか・コミュニケーションが成立しているか。
テキスト 参考書等	各種図録・事例集などを授業に合わせて準備。
教員略歴	株式会社 9P 代表取締役。2014 年株式会社 9P、2017 年 TISSUE Inc.設立。グラフィックデザイナー・アートディレクターとして、福岡県内外を問わず CI・VI、広告、書籍、web、ショップブランディングなど幅広く手がける。

授業計画	1	オリエンテーション・アイデア演習
	2	日本語タイポグラフィ制作演習
	3	〃
	4	〃
	5	商品広告デザイン演習
	6	〃
	7	〃
	8	グラフィックポスター制作
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	ブランディング演習 ロゴ・各種ツール制作
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集ⅢD	担当教員	吉田朋史
-----	-------------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	フライヤー制作・インフォグラフィック・ブックデザインなど様々なメディアを使ったグラフィックデザインの制作実習。
到達目標	様々なメディア特性やコミュニケーションアプローチを知り、デザインの理解度を深める。
評価方法	提出作品によって下記項目について評価します。 造形の精度・発想力やアイデア・独創性・問題解決力・情報整理・情報設計ができているか・コミュニケーションが成立しているか。
テキスト 参考書等	各種図録・事例集などを授業に合わせて準備。
教員略歴	株式会社 9P 代表取締役。2014 年株式会社 9P、2017 年 TISSUE Inc.設立。グラフィックデザイナー・アートディレクターとして、福岡県内外を問わず CI・VI、広告、書籍、web、ショップブランディングなど幅広く手がける。

授業計画	1	インフォグラフィック演習
	2	〃
	3	フライヤーデザイン演習
	4	〃
	5	〃
	6	ブックデザイン演習
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	進級制作
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web・映像ⅡA	担当教員	田代順三
-----	----------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	Webデザイン概論/トレンド講座。グラフィック作成ソフト、インターフェース・デザイン・ツールを使用して、Web画面デザインの制作/構築。 コードエディターを使用して、HTML/CSS・JavaScriptを使ったサイト制作の学習。
到達目標	Web デザイン制作の技術習得。画面レイアウトデザインとユーザビリティの高い Web サイトの構築。UI/UX 構築。 マークアップ言語（HTML/CSS）のコーディング技術の習得。
評価方法	課題によるデザインの表現レベル、ユーザーインターフェースの構築、ユーザビリティの高さ、ユーザーエクスペリエンス達成度の評価。コーディング（マークアップ言語HTML記載、CSSの記載理解力）の評価。プレゼンテーションによる評価。授業態度による評価。
テキスト 参考書等	必要時に解説プリントまたは PDF 配布。
教員略歴	製版会社デザイナーを経て、マルチメディア系コンテンツ制作会社で、グラフィックデザイン、デジタルコンテンツ制作、Webデザイン構築に従事。1998年にフリーランスとなり、主にWeb制作、UI/UXデザイナーとして活動。日本イラストレーション協会（JILLA）会員。

授業計画	1	Web デザイン・サイト構築についての講
	2	仮想ショップサイトのデザイン
	3	〃
	4	〃
	5	〃 HTML・CSS 解説～コーディン
	6	〃
	7	〃
	8	Web ポートフォリオ制
	9	〃
	10	〃 HTML コーディング作業
	11	〃
	12	仮想企業ページ制作
	13	〃
	14	〃 HTML コーディング作業
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web・映像ⅢA	担当教員	田代順三
-----	----------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	Webデザイン概論/トレンド講座。グラフィック作成ソフト、インターフェース・デザイン・ツールを使用して、Web画面デザインの制作/構築。 コードエディターを使用して、HTML/CSS・JavaScriptを使ったサイト制作の学習。
到達目標	Web デザイン制作の技術習得。画面レイアウトデザインとユーザビリティの高い Web サイトの構築。UI/UX 構築。 マークアップ言語 (HTML/CSS) のコーディング技術の習得。マルチデバイス対応のレスポンシブサイトの構築。
評価方法	課題によるデザインの表現レベル、ユーザーインターフェースの構築、ユーザビリティの高さ、ユーザーエクスペリエンス達成度の評価。コーディング（マークアップ言語 HTML 記載、CSS の記載理解力）の評価。プレゼンテーションによる評価。授業態度による評価。
テキスト 参考書等	必要時に解説プリントまたは PDF 配布。
教員略歴	製版会社デザイナーを経て、マルチメディア系コンテンツ制作会社で、グラフィックデザイン、デジタルコンテンツ制作、Web デザイン構築に従事。1998 年にフリーランスとなり、主に Web 制作、UI/UX デザイナーとして活動。日本イラストレーション協会 (JILLA) 会員。

授業計画	1	キャンペーン・プロモーションサイト制作
	2	〃
	3	〃
	4	〃 HTML コーディング作業
	5	〃
	6	仮想イベントサイト制作
	7	〃
	8	〃
	9	〃 HTML コーディング作業
	10	〃
	11	レスポンシブ Web サイト練習
	12	〃
	13	レスポンシブ基礎解説～コーディング
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web・映像ⅡB	担当教員	下村晋一
-----	----------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	プログラミングを主体として、主に技術面（テクニカル）に特化した授業を行います。HTML で文書構造の組み立て方を学び、CSS で画面のレイアウト設計や画像・文字情報の見やすさや使いやすさを、JavaScript でモーションや音などの動的な体験を作ります。コードを一緒に書きながら、UI やインタラクション周りの基礎的な実装方法を解説します。
到達目標	Web の仕組みを体系的に学びます。あらゆるディスプレイに表示される画面表示に採用されている HTML の理解。Web を使ってどんな視覚コミュニケーションが作れるかを探る。
評価方法	①プログラミングの基礎的な理解力 ②アイデアを形にする思考力 ③なぜ？どうして？に対する論理的な回答力 ④上記に加え、課題に取り組む姿勢や出席状況を加味して総合的に判断します。
テキスト 参考書等	Web デザイン・スタンダード 伝わるビジュアルづくりとクリエイティブの最新技法 スラスラ読める JavaScript ふりがなプログラミング
教員略歴	株式会社ファイブ 代表取締役／テクニカルディレクター／印刷会社と広告デザイン会社を経て、2019 年 4 月に 5ive Inc.を設立。リトラシェアオフィスを共同運営。同オフィスメンバーを軸に、課題解決を最優先しブランディングや商品開発などのクリエイティブ全般に携わる。

授業計画	1	Web が表示される仕組み
	2	文書構造について
	3	HTML 基礎
	4	HTML 基礎
	5	装飾・レイアウトについて
	6	CSS 基礎
	7	CSS 基礎
	8	CSS 基礎
	9	発表
	10	CSS 応用
	11	CSS 応用
	12	CSS 応用
	13	CSS 応用
	14	CSS 応用
	15	発表・まとめ・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web・映像ⅢB	担当教員	下村晋一
-----	----------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	プログラミングを主体として、主に技術面（テクニカル）に特化した授業を行います。HTML で文書構造の組み立て方を学び、CSS で画面のレイアウト設計や画像・文字情報の見やすさや使いやすさを、JavaScript でモーションや音などの動的な体験を作ります。コードを一緒に書きながら、UI やインタラクション周りの基礎的な実装方法を解説します。
到達目標	Web の仕組みを体系的に学びます。あらゆるディスプレイに表示される画面表示に採用されている HTML の理解。Web を使ってどんな視覚コミュニケーションが作れるかを探る。
評価方法	①プログラミングの基礎的な理解力 ②アイデアを形にする思考力 ③なぜ？どうして？に対する論理的な回答力 ④上記に加え、課題に取り組む姿勢や出席状況を加味して総合的に判断します。
テキスト 参考書等	Web デザイン・スタンダード 伝わるビジュアルづくりとクリエイティブの最新技法 スラスラ読める JavaScript ふりがなプログラミング
教員略歴	株式会社ファイブ 代表取締役／テクニカルディレクター／印刷会社と広告デザイン会社を経て、2019 年 4 月に 5ive Inc.を設立。リトラシェアオフィスを共同運営。同オフィスメンバーを軸に、課題解決を最優先しブランディングや商品開発などのクリエイティブ全般に携わる。

授業計画	1	プログラミングについて
	2	JavaScript 基礎
	3	JavaScript 基礎
	4	JavaScript 基礎
	5	JavaScript 基礎
	6	JavaScript 基礎
	7	発表
	8	JavaScript 応用
	9	JavaScript 応用
	10	JavaScript 応用
	11	JavaScript 応用
	12	JavaScript 応用
	13	JavaScript 応用
	14	JavaScript 応用
	15	発表・まとめ・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	デザイン教養Ⅱ	担当教員	全教員
-----	---------	------	-----

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	伝わるデザインとは何かを、ポートフォリオ制作を通して模索していきます。 業界や職種によるポートフォリオの構成内容を研究し読み解いていきます。 自己の魅力や強みを客観的な視点で分析し、ポートフォリオに落とし込むことを目標とします。
到達目標	業界や職種によるポートフォリオの特徴を理解し、過去の自己作品を整理して分類しブラッシュアップをする。自己アピールできるポイントを分析し、魅力的に伝わるポートフォリオを目指します。
評価方法	ポートフォリオの完成度をもって総合的に評価する。
テキスト 参考書等	過去の学生の制作したポートフォリオ。 必要に応じて資料配布。
教員略歴	

授業計画	1	オリエンテーション／ポートフォリオの重要性
	2	伝えるためのデザインとは
	3	クリエイター業界の研究
	4	クリエイター系のポートフォリオを研究
	5	職種によるポートフォリオの違いを研究
	6	企業研究 及び リサーチ
	7	作品写真の撮影について
	8	作品の画像データ化 及び 自己分析
	9	〃
	10	基本フォーマットによるプレ制作
	11	〃
	12	プレ制作の中間チェック
	13	ブラッシュアップ
	14	〃
	15	プレ・ポートフォリオの講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	パッケージデザインⅠ	担当教員	西畑晴美・平田すづ子
-----	------------	------	------------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	市場にある汎用形の箱の構造の習得。パッケージの必須条件である内容物の保護の為の課題。情報伝達の為のグラフィックを基礎認識とし、商品イメージの構築の為、道具、資材、パソコンを駆使し目標とするデザインを具現化する。
到達目標	パッケージの市場での役割や必要とされる要因を認識し具体的な視覚表現に結びつける。新鮮な切口やオリジナリティを加味し企画構成した商品を、パッケージの構造やグラフィックにて表現する。意欲を維持し1年間を過ごす。
評価方法	デザイナーの資質として物事に対する直感性が大事だと考えるのでその点に留意し、直感性、想像力、課題への理解度、発展させる能力、課題に取り組む姿勢、表現手法、完成度、出席状況それ等を総合的に判断し評価する。
テキスト 参考書等	「パッケージプラン」清水要・増山治男 「パッケージ戦略110ヶ条」加納光 「立体構成の基礎」高山正喜久
教員略歴	西畑晴美：本校学校長。大阪芸術大学非常勤講師。グラフィックデザイナー・シューズデザイナー・ギフトラッピングコーディネーター。シューズメーカーにてシューズデザイン、企画、試作、パターン制作等を行う。産学連携事業で商品パッケージ・ラベルデザインを指導。

授業計画	1	基本的な構造の演習
	2	キャラメルタイプ
	3	アメリカンロックタイプ・ガゼットタイプ
	4	蓋身の箱
	5	既存商品のパッケージのグラフィック表現と試作
	6	〃
	7	商品保護のためのパッケージ 「液体」・「われもの」などの箱構造とグラフィック
	8	実作
	9	〃
	10	ペーパーバッグ制作
	11	コンセプト企画立案・ラフデザイン制作
	12	ダンボールを使った商品の制作
	13	〃 グラフィック表現と試作
	14	〃
	15	企画書制作

[福岡デザイン専門学校]

科目名	パッケージデザインⅡ	担当教員	西畑晴美・平田すづ子
-----	------------	------	------------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	市場にある汎用形の箱の構造の習得。パッケージの必須条件である内容物の保護の為の課題。情報伝達の為のグラフィックを基礎認識とし、商品イメージの構築の為、道具、資材、パソコンを駆使し目標とするデザインを具現化する。
到達目標	パッケージの市場での役割や必要とされる要因を認識し具体的な視覚表現に結びつける。新鮮な切口やオリジナリティを加味し企画構成した商品を、パッケージの構造やグラフィックにて表現する。意欲を維持し1年間を過ごす。
評価方法	デザイナーの資質として物事に対する直感性が大事だと考えるのでその点に留意し、直感性、想像力、課題への理解度、発展させる能力、課題に取り組む姿勢、表現手法、完成度、出席状況それ等を総合的に判断し評価する。
テキスト 参考書等	「パッケージプラン」清水要・増山治男 「パッケージ戦略110ヶ条」加納光 「立体構成の基礎」高山正喜久
教員略歴	西畑晴美：本校学校長。大阪芸術大学非常勤講師。グラフィックデザイナー・シューズデザイナー・ギフトラッピングコーディネーター。シューズメーカーにてシューズデザイン、企画、試作、パターン制作等を行う。産学連携事業で商品パッケージ・ラベルデザインを指導。

授業計画	1	自社（学生）製品及び他社のための
	2	商品開発、イメージ、ロゴ、パッケージ
	3	ディスプレイ
	4	企画・コンセプトの作成
	5	構造・グラフィックの実作
	6	〃
	7	各自学生が提案したテーマに添って企画立案、
	8	制作を行う
	9	〃 企画・コンセプトの作成
	10	〃 構造
	11	〃 実作・
	12	〃 実作
	13	〃 印刷・制作
	14	〃 印刷・制作
	15	企画書制作・プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	映像 I	担当教員	宇佐美毅
-----	------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	1. 映像表現（アートアニメーション、モーションインフォグラフィクス、展示映像）に関する理論・表現・技術を紹介し、選択させます。 2. Adobe After Effects を中心とした技術を習得させ、自分なりの映像表現を模索させます。 3. 基本は個別指導ですが、適宜視察、共同制作、発表を行います。
到達目標	自分なりの表現を楽しみながら作ること、その中で映像の面白さ、奥深さを学んでもらうことを目標にします。そのためにさまざまな映像表現・技術を紹介し、基礎技術を一通り習得させます。また、制作のみならずプレゼンテーションや共同制作にも慣れてもらいます。
評価方法	表現力、獨創性（自身に根ざしているか）、論理性（目的と表現が合っているか）、制作管理能力を評価軸とし、出席、課題提出状況、授業や制作に対する姿勢を加味し総合的に評価します。
テキスト 参考書等	TRAERA http://toraera.com/ DENPO-ZI https://www.youtube.com/user/DENPOZI/ AEP PROJECT http://ae-users.com/jp/ バカ・アフター http://baaaf.com/
教員略歴	アニメーションディレクター、デザイナー／クリエイティブ・ラボ anno lab（あのラボ）所属。断面アニメーション博士。アナログ寄りのアニメーション、科学コンテンツ、知育玩具など、体験者の日常が遊びと学びで豊かになることを願って制作している。

授業計画	1	AE 基礎
	2	〃
	3	〃
	4	キャラクターアニメーション
	5	〃
	6	ロトスコープ
	7	〃
	8	プロジェクション映像
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	コラージュ
	13	〃
	14	アニメーション史
	15	アニメーション玩具

[福岡デザイン専門学校]

科目名	映像Ⅱ	担当教員	宇佐美毅
-----	-----	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	1. 映像表現（アートアニメーション、モーションインフォグラフィックス、展示映像）に関する理論・表現・技術を紹介し、選択させます。 2. Adobe After Effects を中心とした技術を習得させ、自分なりの映像表現を模索させます。 3. 基本は個別指導ですが、適宜視察、共同制作、発表を行います。
到達目標	自分なりの表現を楽しみながら作ること、その中で映像の面白さ、奥深さを学んでもらうことを目標にします。そのためにさまざまな映像表現・技術を紹介し、基礎技術を一通り習得させます。また、制作のみならずプレゼンテーションや共同制作にも慣れてもらいます。
評価方法	表現力、獨創性（自身に根ざしているか）、論理性（目的と表現が合っているか）、制作管理能力を評価軸とし、出席、課題提出状況、授業や制作に対する姿勢を加味し総合的に評価します。
テキスト 参考書等	TRAERA http://toraera.com/ DENPO-ZI https://www.youtube.com/user/DENPOZI/ AEP PROJECT http://ae-users.com/jp/ バカ・アフター http://baaaf.com/
教員略歴	アニメーションディレクター、デザイナー／クリエイティブ・ラボ anno lab（あのラボ）所属。断面アニメーション博士。アナログ寄りのアニメーション、科学コンテンツ、知育玩具など、体験者の日常が遊びと学びで豊かになることを願って制作している。

授業計画	1	メディア
	2	〃
	3	モーショングラフィックス
	4	〃
	5	〃
	6	音同期
	7	〃
	8	〃
	9	コンセプトワーク
	10	〃
	11	〃
	12	演出
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	イラスト・アートⅠ	担当教員	津島タカシ
-----	-----------	------	-------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	個々の表現を様々な技法で自由に形にする課題を通して、幅広い表現方法を身につけます。それらを実社会でのイラストレーションの現場に、個性を活かしたまま落とし込める力を楽しみながら養います。
到達目標	個々の感性を活かせる幅広い表現手段（アナログ／デジタル／アナログとデジタルの併用）を見つけ、表現を形にすることを目標とします。自分のアイデアが作品となり社会に届く意義や生成AI時代における人間が描くことの意義、大切さについても伝えます。
評価方法	出席状況、受講態度、課題の表現レベルや把握の程度により総合評価します。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配付。
教員略歴	イラストレーター。広告会社勤務後フリーランス。広告、パッケージ、ファッション、テキスト、絵本など国内外で制作。陶器の絵皿や型染め、アナログとデジタルを融合させたジクレー作品なども制作。アートワークショップも行う。

授業計画	1	イラストレーション、アートについて
	2	画材について（アナログ／デジタル）と実習
	3	様々な画材による線での表現（フリースローイング）
	4	線画によるイラストレーション制作
	5	色彩についてと色彩でのドローイング
	6	色彩によるイラストレーション制作
	7	色彩と線画によるイラストレーション制作
	8	図形についてと図形の組み合わせによるイラスト制作
	9	動物のイラスト デフォルメ
	10	植物のイラスト デフォルメ
	11	人物のイラスト 表情・ポーズ・デフォルメ
	12	建物・風景・物 デフォルメ
	13	デフォルメした人物・動植物・建物・風景などを組み合わせたイラスト制作
	14	テセレーションによるイラスト制作
	15	まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	イラスト・アートⅡ	担当教員	津島タカシ
-----	-----------	------	-------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	個々の表現を様々な技法で自由に形にする課題を通して、幅広い表現方法を身につけます。それらを実社会でのイラストレーションの現場に、個性を活かしたまま落とし込める力を楽しみながら養います。
到達目標	個々の感性を活かせる幅広い表現手段（アナログ／デジタル／アナログとデジタルの併用）を見つけ、表現を形にすることを目標とします。自分のアイデアが作品となり社会に届け意義や生成AI時代における人間が描くことの意義、大切さについても伝えます。
評価方法	出席状況、受講態度、課題の表現レベルや把握の程度により総合評価します。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配付。
教員略歴	イラストレーター。広告会社勤務後フリーランス。広告、パッケージ、ファッション、テキストイル、絵本など国内外で制作。陶器の絵皿や型染め、アナログとデジタルを融合させたジクレー作品なども制作。アートワークショップも行う。

授業計画	1	後期授業について
	2	ジクレーについてとジクレー制作のための素材集め
	3	ジクレー用のデータ制作
	4	ジクレー用データ仕上げと印刷
	5	広告制作について
	6	擬人化・キャラクター
	7	エディトリアルイラストについて
	8	チラシ・ポスターイラスト
	9	カレンダーイラスト
	10	ステンシル・型染め用イラスト
	11	コラージュ
	12	本の挿絵
	13	絵本
	14	絵本仕上げ
	15	まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	CG I	担当教員	土井貴一郎
-----	------	------	-------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	3DCGソフトBlenderを使用して3DCG概要から、モデリング、マテリアルの設定、テクスチャリング、ライティング、カメラアングル、アニメーション等、順を追って3DCGを総合的に演習します。
到達目標	3DCGの基礎を理解し、形状や各種設定を的確に行える総合的な習得を目標とします。 グラフィックデザインに3DCGを取り入れる手法や、多様化するデジタルコンテンツへの応用等、柔軟な発想力の向上を併せ持ったデザイナーの育成を目指します。
評価方法	出席状況、授業に対する姿勢、課題の提出状況や完成度に応じて評価します。
テキスト 参考書等	適時指導
教員略歴	3DCG デザイナー/国産 3DCG ソフトの開発、制作部門を経て、海外製 3DCG ソフトのテクニカルサポートやコラム執筆を担当。mars inc.に所属し、ミュージアム系のデジタルコンテンツの制作や枠にとらわれない表現の構築に携わっている。

授業計画	1	3DCG 概要
	2	モデリング
	3	モデリング
	4	モデリング
	5	マテリアル設定
	6	マテリアル設定
	7	テクスチャ設定
	8	テクスチャ設定
	9	ライティング・カメラアングル
	10	アニメーション
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・寸評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	CG II	担当教員	土井貴一郎
-----	-------	------	-------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	3DCG ソフト Blender を使用して 3DCG 概要から、モデリング、マテリアルの設定、テクスチャリング、ライティング、カメラアングル、アニメーション等、順を追って 3DCG を総合的に演習します。
到達目標	3DCGの基礎を理解し、形状や各種設定を的確に行える総合的な習得を目標とします。 グラフィックデザインに 3DCG を取り入れる手法や、多様化するデジタルコンテンツへの応用等、柔軟な発想力の向上を併せ持ったデザイナーの育成を目指します。
評価方法	出席状況、授業に対する姿勢、課題の提出状況や完成度に応じて評価します。
テキスト 参考書等	適時指導
教員略歴	3DCG デザイナー/国産 3DCG ソフトの開発、制作部門を経て、海外製 3DCG ソフトのテクニカルサポートやコラム執筆を担当。mars inc.に所属し、ミュージアム系のデジタルコンテンツの制作や枠にとらわれない表現の構築に携わっている。

授業計画	1	前期の復習
	2	前期の復習
	3	進級制作
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・寸評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web I	担当教員	吉寄調
-----	-------	------	-----

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	ノーコードWebサイト制作ツールSTUDIOの操作方法を学びます。 HTMLやCSSを使用したコーディングは行いませんが、STUDIOを通してWebについての基礎知識を学ぶことで、自らのデザインの可能性を広げます。
到達目標	ノーコードWebサイト制作ツールSTUDIOの操作方法を習得すること。 印刷物とWebの違いを知ること。
評価方法	ツールの習得度、企画力、プレゼンテーション力に加え、出席状況、授業態度を加味して総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	株式会社ファイブ ウェブディレクター／ウェブエンジニア／1988年長崎生まれ。長崎大学工学部環境システム工学科卒業。福岡デザイン専門学校総合デザイン科卒業。2016年株式会社ファイブに入社。「ちょうどよさ」を軸に、ウェブを中心としたクリエイティブ全般に携わる。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	ウェブサイトの概要
	3	STUDIO の操作方法と演習
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	STUDIO 制作実践
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・まとめ・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web II	担当教員	吉寄調
-----	--------	------	-----

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	ノーコードWebサイト制作ツールSTUDIOの操作方法を学びます。 HTML や CSS を使用したコーディングは行いませんが、STUDIO を通して Web についての基礎知識を学ぶことで、自らのデザインの可能性を広げます。
到達目標	STUDIOを使用し、自らをPRするためのポートフォリオサイトを作成すること。 Web サイトの目的に適したコンテンツを考えられるようになること。
評価方法	ツールの習得度、企画力、プレゼンテーション力に加え、出席状況、授業態度を加味して総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	株式会社ファイブ ウェブディレクター／ウェブエンジニア／1988 年長崎生まれ。長崎大学工学部環境システム工学科卒業。福岡デザイン専門学校総合デザイン科卒業。2016 年株式会社ファイブに入社。「ちょうどよさ」を軸に、ウェブを中心としたクリエイティブ全般に携わる。

授業計画	1	ポートフォリオサイト制作
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	中間発表・まとめ・講評
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・まとめ・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	アート表現Ⅰ	担当教員	永井直仁
-----	--------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	平面表現 立体表現 体感表現など自らのアイディアに適した方法を実践し課題を通して再現を試みる事で思考できる対応力、探究心を向上させる。
到達目標	素材、技法を使い分け、予想図や自己表現の制作物を表現来ること。
評価方法	授業への取り組み 提出課題
テキスト 参考書等	各種素材の練習 自主制作プリント
教員略歴	デザイナー、ディレクター／油画、インテリア空間設計を学び、total design laboratory calm 設立。建築パース、店舗デザイン、グラフィックイラストなどに携わる。オリジナル家具やプロダクトのデザイン、セレクトショップの lifestyle shop 運営、ディレクションを行う。

授業計画	1	素材研究-1(ドローイング)
	2	〃
	3	講評会
	4	素材研究-2 (野外実習・スケッチ)
	5	〃
	6	講評会
	7	素材研究-3 (ミクスト・メディアによる表現)
	8	〃
	9	講評会
	10	平面制作-1
	11	〃
	12	講評会
	13	課題制作-2
	14	〃
	15	講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	アート表現Ⅱ	担当教員	永井直仁
-----	--------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	平面表現 立体表現 体感表現など自らのアイディアに適した方法を実践し課題を通して再現を試みる事で思考できる対応力、探究心を向上させる。
到達目標	素材、技法を使い分け、予想図や自己表現の制作物を表現来ること。
評価方法	授業への取り組み 提出課題
テキスト 参考書等	各種素材の練習 自主制作プリント
教員略歴	デザイナー、ディレクター／油画、インテリア空間設計を学び、total design laboratory calm 設立。建築パース、店舗デザイン、グラフィックイラストなどに携わる。オリジナル家具やプロダクトのデザイン、セレクトショップの lifestyle shop 運営、ディレクションを行う。

授業計画	1	素材研究-4（ミクスト・メディアによる表現 2）
	2	〃
	3	講評会
	4	素材研究-5（野外実習・スケッチ）
	5	〃
	6	講評会
	7	素材研究-6（ミクスト・メディアによる表現 3）
	8	〃
	9	講評会
	10	イラスト制作-3
	11	〃
	12	講評会
	13	課題制作-4
	14	〃
	15	講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	タイポグラフィ I	担当教員	山田英二
-----	-----------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	タイポグラフィ全般の基礎と応用を、デザイン課題を通して講評。
到達目標	実践の現場で通用する技術の習得。
評価方法	出席日数、課題内容を評価する。
テキスト 参考書等	TDC 年鑑 JAGDA 年鑑 ADC 年鑑 他
教員略歴	アートディレクター、グラフィックデザイナー／東京にて1998年「ウルトラグラフィックス」を設立。グラフィックデザインをはじめ、広告・コマーシャル、商品企画開発、ネットサービスの運営など業種の垣根なく活動。TDC 金賞や NYADC 銀賞など入賞・入選多数。

授業計画	1	タイポグラフィとは。(レクチャー)
	2	円と直線によるタイポ制作(実技)
	3	アルファベット制作(実技)
	4	〃
	5	〃
	6	プライベートロゴ制作と展開(実技)
	7	〃
	8	フリータイポグラフィ制作(実技)
	9	〃
	10	〃
	11	各専攻課題のアドバイス(個別レクチャー)
	12	コンペティション(TDC) ポスター制作(実技)
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	実践デザインⅠ	担当教員	山田英二
-----	---------	------	------

学 年	全学年	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専 門		大阪芸術大学 併修科目

授業概要	実際の仕事で通用する、予算感、本質を捉えた企画、印刷のテクニック、伝わるデザイン、説得させるプレゼンを実践及び高いポテンシャルをもったデザイナーになるためのメンタル面も踏まえ、学習する。
到達目標	ある広告主を仮定しメディアの長所短所を理解しつつ、広告の目的、メディアミックスの表現を学習。
評価方法	出席状況、提出課題、授業態度を総合評価。
テキスト 参考書等	著書「SCHOOL OF DESIGN」 ADC 年鑑、TDC 年鑑、JAGDA 年鑑
教員略歴	アートディレクター、グラフィックデザイナー／東京にて1998年「ウルトラグラフィックス」を設立、2012年同社退社後、本校特任講師に就任。グラフィックデザインをはじめ、広告・コマーシャル、商品企画開発、プロダクトデザイン、ネットサービスの運営など業種の垣根なく活動。

授業計画	1	広告のメディアについて。
	2	課題となる企業の調査
	3	資料収集
	4	課題となる企業の調査報告そして問題点
	5	制作
	6	制作
	7	企画プレゼン・採点・寸評
	8	制作
	9	制作
	10	制作物の中間プレゼン・採点・寸評
	11	制作
	12	制作
	13	制作
	14	制作
	15	制作総合プレゼン・採点・寸評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	タイポグラフィⅡ	担当教員	山田英二
-----	----------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	タイポグラフィ全般の基礎と応用を、デザイン課題を通して講評。
到達目標	実践の現場で通用する技術の習得。
評価方法	出席日数、課題内容を評価する。
テキスト 参考書等	TDC 年鑑 JAGDA 年鑑 ADC 年鑑 他
教員略歴	アートディレクター、グラフィックデザイナー／東京にて1998年「ウルトラグラフィックス」を設立。グラフィックデザインをはじめ、広告・コマーシャル、商品企画開発、ネットサービスの運営など業種の垣根なく活動。TDC 金賞や NYADC 銀賞など入賞・入選多数。

授業計画	1	アテンションサイン制作（実技）
	2	〃
	3	〃
	4	レコードジャケット カバー制作（実技）
	5	〃
	6	〃
	7	レコードジャケット 歌詞カード制作（実技）
	8	〃
	9	〃
	10	レコードジャケット 販促ポスター制作（実技）
	11	各専攻課題のアドバイス（個別レクチャー）
	12	仮想会社の V.I.制作（実技）
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	コピーライティング	担当教員	田所恵介
-----	-----------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	コピーライティング演習を中心に、広告クリエイティブの作法を学びます。宣伝会議賞などコンペへのエントリーを実習に含みます。また、テレビCMや動画演出など、コピーライターの活躍の場は、映像制作にも広がっており、絵コンテやストーリーボード制作なども講座に含みます。
到達目標	ビジネスパーソンとして必要なコピーライティングの基礎を学びます。「ひらめきや文才」に左右されると思われがちなコピーライティングには、実は設計作法があり、その方法論の修得。
評価方法	出席状況、受講態度、課題、レポート提出。
テキスト 参考書等	必要に応じてプリント配付
教員略歴	本校専任教員。広告会社（博報堂・博報堂プロダクツ）において、クリエイティブ、プランナーなどプロモーションプロデュース職に従事。移動体通信事業、クルマ、航空会社、行政サービスなど、パートナー企業の新商品、新サービス開発のプロローンを担当。

授業計画	1	コピーライティングとは
	2	活字媒体のライティング
	3	課題と寸評
	4	課題と寸評
	5	課題と寸評
	6	課題と寸評
	7	Web ライティング
	8	課題と寸評
	9	課題と寸評
	10	編集ライティング
	11	課題と寸評
	12	課題と寸評
	13	CM/動画企画
	14	課題と寸評
	15	まとめと寸評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	アニメーションⅠ	担当教員	内田文子
-----	----------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	時間軸（フレーム）の概念とその中に展開するストーリーの構築などアニメーションの基礎知識を習得するとともに、発想から完成（プレゼン）までの自立的発展と自己表現の確立を目指します。
到達目標	急速に変化していく映像メディアの環境の中の一部にあるアニメーション表現を、商業デザインとしてまたはアートとして適正に応じ発想力・企画力・表現力を発揮できる創造性豊かな人材育成を目指します。
評価方法	練習問題の理解度、応用課題の達成度。出席状況、授業態度 これらを総合的に判断し、評価します。
テキスト 参考書等	必要時解説プリント配布
教員略歴	デザイン専門学校卒業後、広告デザイン・イラスト・映像制作を専門に活動。 スーパーロケットプロジェクト主催。（映像、アニメーション、建築）

授業計画	1	映像制作とアニメーションについて
	2	キャラクターデザインと撮影について
	3	イラストキャラクターに動きをつける
	4	〃
	5	実写×イラスト合成映像制作
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	発表・講評
	10	アニメーション CM 制作
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・講評・まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	アニメーションⅡ	担当教員	内田文子
-----	----------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	時間軸（フレーム）の概念とその中に展開するストーリーの構築などアニメーションの基礎知識を習得するとともに、発想から完成（プレゼン）までの自立的発展と自己表現の確立を目指します。
到達目標	急速に変化していく映像メディアの環境の中の一部にあるアニメーション表現を、商業デザインとしてまたはアートとして適正に応じ発想力・企画力・表現力を発揮できる創造性豊かな人材育成を目指します。
評価方法	練習問題の理解度、応用課題の達成度。出席状況、授業態度 これらを総合的に判断し、評価します。
テキスト 参考書等	必要時解説プリント配布
教員略歴	デザイン専門学校卒業後、広告デザイン・イラスト・映像制作を専門に活動。 スーパーロケットプロジェクト主催。（映像、アニメーション、建築）

授業計画	1	ストップモーションアニメーション制作
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	発表・講評
	8	自由課題（コンペ等）
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・講評・まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	しくみ・企画演習Ⅱ	担当教員	篠原 蘭
-----	-----------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	実際のクライアントワークに近い形での実習として、FDSの2026年入学案内パンフレットの中のコンテンツの企画を行います。パンフレットという媒体を使ってFDSの魅力を伝え、覚えてもらうためには、どんな企画や内容が効果的なのか？パンフレットの観察、制作に必要な情報収集、惹きつけられるコンテンツの研究を経て、実際の企画書を制作します。
到達目標	意図や狙いのある企画を立てられるようになる／説明やプレゼンができるようになる／企画の良し悪しを判断できるようになる／企画～制作の中で自分の得意な・好きな役割を認識する／デザインの前段階である企画の部分を体験することでデザインへの解像度を上げる
評価方法	出席、授業への参加度と、チーム内の役割における任務遂行度、課題に対する取り組み態度を総合的に評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	京都造形芸術大学を卒業後、印刷会社の企画営業職を経て、2016年東京ピストルに入社。編集者としてアートブック・広報ツール・WEBの制作やSNSの運用など幅広く担当。2019年からTISSUE Inc./フリーランスの編集者として活動開始。

授業計画	1	現状のFDSパンフレットや近い学校のパンフレットを観察・情報収集
	2	魅力的なコンテンツ・企画とは？さまざまなコンテンツを意識的に見て考える
	3	観察と情報収集・リサーチの結果、どんな企画を立てるか？アイデア出し
	4	編集会議① 企画の発表～意見交換。採用アイデアを絞り、担当班をつくる
	5	アイデアを深めるための追加リサーチとアイデア出し
	6	どんな内容をどんな切り口でどんな見せ方にするのか？資料やイメージにまとめる
	7	編集会議② 班ごとに制作経過（企画アイデア、方向性）を発表、情報共有
	8	制作① 企画をブラッシュアップ、企画説明用のイメージを制作
	9	〃
	10	編集会議③ 班ごとに制作経過（企画説明用イメージ）を発表、情報共有
	11	制作② 企画説明用のイメージのブラッシュアップ／企画書作り
	12	〃
	13	編集会議④ 企画書を用いてプレゼン発表
	14	制作③ プレゼンに向け制作・準備
	15	FDS教員他を審査員にプレゼン／講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	地域デザインⅠ	担当教員	江副直樹
-----	---------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	しくみデザインとは、前提を疑い、常識を飛び越え、ルールを再解釈し、クリエイティブを活用してイノベーションを起こす作法のこと。講師がプロデュースした多様なプロジェクトの深掘りを通して、またそこから起こる活発な議論によって、しくみデザインのなんたるかを体感し、思考力を高め、その真髄を学ぶ。
到達目標	プロデューサーの育成、またはプロデューサー的人材の育成をめざす。
評価方法	出席状況、課題評価、授業態度などの総合評価。授業態度については、講義への理解度に加え、熱意、集中力、発言意欲、質問創出などを評価の基軸に置き、現場の仕事で最も必要とされる、コミュニケーションスキルのレベル向上を重視する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	プロデューサー、クリエイティブディレクター／1997 年商品開発と広報計画を柱とする事業プロデュースの会社、ブンボ設立。農業、商業、工業、観光、地域活性など多分野の多様なクライアントに対する、コンセプト重視の事業戦略提案とその実現が主な仕事。大阪芸術大学客員教授。

授業計画	1	自己紹介。授業ガイダンス。こんな風な授業をしようと思う。
	2	しくみデザイン入門 1。そもそもに遡り、ホントにそうかと疑う。
	3	しくみデザイン入門 2。常識を飛び越え、新たなルールを考える。
	4	自分の仕事として学ぶケーススタディ 1
	5	ケーススタディ 2
	6	ケーススタディ 3
	7	ケーススタディ 4
	8	ケーススタディ 5
	9	ケーススタディ 6
	10	企画演習+自由討論 1
	11	企画演習+自由討論 2
	12	企画演習+自由討論 3
	13	〃
	14	〃
	15	振り返り。総括。各自が授業の思い出を語る。

[福岡デザイン専門学校]

科目名	マネージメント研究	担当教員	永井直仁
-----	-----------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	個人（受講生）があらゆる要素から自己分析を図り、デザインを通してセルフプロデュースの表現や手法を学び、社会との繋がり方法を模索し、マネージメント感覚と実践力を身につける。
到達目標	個人の構成する能力、個性などを見つめ直し、表現方法やオリジナルデザイン作品などを通じて、対社会、企業などへのプレゼンテーション技術習得、手段を学ぶ。
評価方法	制作課題、プレゼンテーション内容。表現手段などの創意工夫の意欲。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	永井直仁：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。デザイナー、ディレクター／total design laboratory calm 設立。建築パース、店舗デザイン、グラフィックイラストなどに携わる。オリジナル家具やプロダクトのセレクトショップの lifestyle shop 運営、ディレクションを行う。

授業計画	1	自己分析による自己構成の確認。
	2	〃
	3	企画手法講義・商品立案、企画 1
	4	プレゼンテーション
	5	宣伝、広告効果講義・商品立案、企画 2
	6	〃
	7	プレゼンテーション
	8	商品立案、企画 3 グループ開発
	9	〃
	10	〃
	11	プレゼンテーション
	12	自己プロデュース立案、企画 4
	13	〃
	14	〃
	15	最終プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	しくみ・企画演習Ⅲ	担当教員	田所恵介
-----	-----------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	情報のデザイン、モノのデザイン、コトのデザインを、領域を超えたコンセプトを導き出して、アウトプットする方法論を学ぶ。
到達目標	行動観察による定性調査、マーケティングデータから、クリエイティブアイデアを発見し、問題解決のコンセプトの抽出、クリエイティブのアウトプット力を習得する。 東京ミッドタウンアワード・グッドデザイン賞・ニューホープ賞へのエントリーを課題とする。
評価方法	出席点・課題提出評価点で総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	本校専任教員。広告会社（博報堂・博報堂プロダクツ）において、クリエイティブ、プランナーなどプロモーションプロデュース職に従事。移動体通信事業、クルマ、航空会社、行政サービスなど、パートナー企業の新商品、新サービス開発のブローチを担当。

授業計画	1	デザインリサーチの手法（概論）なぜ、デザインリサーチの手法が必要か
	2	デスクトップリサーチ（課題のテーマ設定と検討）
	3	デブスインタビュー（課題の検証）
	4	コンセプトの糸口を見つける①
	5	コンセプトの糸口を見つける②
	6	インサイトの発見
	7	アイディエーション
	8	〃
	9	スケッチ プロトタイプ作成
	10	制作
	11	〃
	12	〃
	13	プレゼンテーション
	14	ブラッシュアップ
	15	〃 課題提出

[福岡デザイン専門学校]

科目名	インテリアデザイン I	担当教員	寒竹美佐子
-----	-------------	------	-------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	住宅全体をプランニングし、設計からインテリアの提案までを行う。間取りのプランニングを中心に、リビング・ダイニングのコーディネート、設計を学ぶ。
到達目標	インテリアコーディネーターとしての基礎知識と表現力の習得。講義とトータルコーディネート習得のための実技演習。コーディネート力に加え、リフォームを含む間取りなどのプランニング力の更なる向上を図る。
評価方法	
テキスト 参考書等	インテリアコーディネートの技法 インテリアの計画と設計 各種カタログ・サンプル帳
教員略歴	インテリアディレクター、トータルカラーアナリスト／株式会社 ZephyrDesign 代表取締役。住まい・商業空間等のインテリアデザイン及び施工業務、モデルルームのトータルプロデュース・売上 UP の空間コンサルティング等、空間デザインに関する業務全般を手がける。

授業計画	1	住宅の全般的なインテリアについて
	2	間取りのプランニング
	3	〃
	4	〃 図面の作図・パース
	5	〃
	6	〃
	7	様々なリビング・ダイニングの事例
	8	リビングの計画・基本演習
	9	〃 テイスト
	10	仕上げ材・家具・照明について
	11	開口部・窓装飾について
	12	ダイニングの計画・基本演習
	13	〃 テイスト
	14	仕上げ材・設備・照明について
	15	プレゼンボードの作成

[福岡デザイン専門学校]

科目名	インテリアデザインⅡ	担当教員	寒竹美佐子
-----	------------	------	-------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	キッチン・浴室・トイレなど水廻りのコーディネート、設計を学ぶ。寸法や基礎知識の講義から建具・収納のデザイン、照明を計画し、設備を決定する前段階の条件把握・カタログの見方・決定事項・発注時の注意や工事業者との打ち合わせポイントを学ぶ。
到達目標	インテリアコーディネーターとしての知識と表現力の習得。講義とトータルコーディネート習得のための実技演習。共感を得られるよりよい空間づくりの修得。
評価方法	
テキスト 参考書等	インテリアコーディネートの技法 インテリアの計画と設計 各種カタログ・サンプル帳
教員略歴	インテリアディレクター、トータルカラーアナリスト／株式会社 ZephyrDesign 代表取締役。住まい・商業空間等のインテリアデザイン及び施工業務、モデルルームのトータルプロデュース・売上 UP の空間コンサルティング等、空間デザインに関する業務全般を手がける。

授業計画	1	様々な水廻りの事例
	2	調査・分析について
	3	住宅のキッチンの計画・基本演習
	4	〃 動線計画
	5	〃 色彩計画
	6	〃 設備計画
	7	住宅の浴室の計画・基本演習
	8	〃 色彩計画
	9	〃
	10	〃 設備計画
	11	住宅のトイレの計画・基本演習
	12	〃 色彩計画
	13	〃
	14	〃 設備計画
	15	公共施設などの水廻りの計画・基本

[福岡デザイン専門学校]

科目名	スタイリングデザイン	担当教員	寒竹美佐子
-----	------------	------	-------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	インテリア空間とアイテムを理解し、プレゼンテーションボードを作成することで表現します。コンセプトを基にイメージとカラープランを立て、床・壁・天井の仕上げ材・建具・家具・カーテン・照明などを選び、リストを作成し、平面図上で表現・提案します。
到達目標	住まいのインテリアコーディネートとは、住む人の自己表現の場です。自ら考えるインテリアを第3者に伝え、共感を得られるようによりよい生活空間を提案し、その提案を現実のものにする為の方法を学びます。
評価方法	
テキスト 参考書等	世界で一番やさしいインテリア 必要に応じ資料配布
教員略歴	インテリアディレクター、トータルカラーアナリスト／株式会社 ZephyrDesign 代表取締役。住まい・商業空間等のインテリアデザイン及び施工業務、モデルルームのトータルプロデュース・売上 UP の空間コンサルティング等、空間デザインに関する業務全般を手がける。

授業計画	1	インテリアイメージカラー
	2	インテリアイメージ分類
	3	インテリアの仕上げ材
	4	私の好きなインテリア
	5	インテリアコンセプトの設定
	6	平面図を考える
	7	インテリアイメージの決定
	8	平面図の着色
	9	家具の分類
	10	照明の分類とセレクト
	11	照明の見積り
	12	ウィンドウトリートメントのセレクト
	13	プランボード作成
	14	〃
	15	販売について

[福岡デザイン専門学校]

科目名	スペースデザインⅠ	担当教員	家藤康德
-----	-----------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	実例のレクチャー、課題制作、合評会。物販店・飲食店などの分析から動線計画・空間計画・プランニングを学び、機能的デザイン・照明演出効果・仕上げ材の表現・ディテールについて習得し、設計を行う。
到達目標	店舗設計の行程を通して、空間と人、空間と商品の関係のとりむすび方を学ぶ。イメージからプラン、図面の作図、プレゼンまで、デザインをまとめ上げ、人々が喜ぶ空間をつくる能力を身につける。
評価方法	
テキスト 参考書等	商店建築等 店舗のディテール 商業建築企画設計資料集成
教員略歴	福岡デザイン専門学校研究科修了後、デザイン事務所にて建築や店舗の設計・デザインに従事。2005年に「アンダースコープデザインオフィス」を設立。現在、飲食、物販、医院、スタジオ、オフィス、ショールーム、住宅など、様々な空間作りを行っている。

授業計画	1	実例のレクチャー・課題説明（物販店）		
	2	情報収集・プランニング・各部計画		
	3	図面の作図	平面図	動線計画
	4	〃		什器計画
	5	〃	展開図	
	6	〃	天井伏図	照明計画
	7	〃	模型作製	色彩計画
	8	プレゼンボード作成		
	9	課題説明（飲食店）・プランニング		
	10	図面の作図	平面図	動線計画
	11	〃		設備計画
	12	〃	展開図	
	13	〃	天井伏図	照明計画
	14	〃	模型作製	色彩計画
	15	プレゼンボード作成		

[福岡デザイン専門学校]

科目名	スペースデザインⅡ	担当教員	家藤康德
-----	-----------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	実例のレクチャー、課題制作、合評会。美容室などのサービス部門や展示場についての様々な計画事項を学び、設計を行う。
到達目標	店舗設計の行程を通して、人と商品、人と人の関係のとりむすび方を学ぶ。イメージからプラン、図面の作図、プレゼンまで、デザインをまとめ上げ、人々が集まり、喜び、コミュニケーションを生む空間づくりを目指す。
評価方法	
テキスト 参考書等	商店建築等 店舗のディテール 商業建築企画設計資料集成
教員略歴	福岡デザイン専門学校研究科修了後、デザイン事務所にて建築や店舗の設計・デザインに従事。2005年に「アンダースコープデザインオフィス」を設立。現在、飲食、物販、医院、スタジオ、オフィス、ショールーム、住宅など、様々な空間作りを行っている。

授業計画	1	実例のレクチャー・サービス業について	
	2	課題説明・条件設定（美容室）	
	3	図面の作図 平面図	動線計画
	4	〃	設備計画
	5	〃 展開図	
	6	〃 天井伏図	照明計画
	7	〃 模型作製	色彩計画
	8	プレゼンボード作成	
	9	課題説明（展示場）・プランニング	
	10	図面の作図 平面図	動線計画
	11	〃	空間演出
	12	〃 展開図	サイン計画
	13	〃 パース	色彩計画
	14	〃	照明計画
	15	プレゼンボード作成	

[福岡デザイン専門学校]

科目名	住宅設計 I	担当教員	佐野正樹
-----	--------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	木造住宅の計画・設計を学ぶ。プランニング・設計を行い、実施図面（配置図・平面図・立面図・断面図・矩計図・天井伏図・構造図など）の作図・プレゼンを通し、仕事の流れを把握・習得する。
到達目標	住宅計画について基本を学び、自主設計を通して理解を深める。建物図面の作図から模型製作までを通して、建築の知識・技術・スケール感を養いながら、仕事の流れを把握する。
評価方法	
テキスト 参考書等	建築設計演習・応用編：プロセスで学ぶ独立住居と集合住居の設計 はじめての建築学・建築デザイン基礎編：住宅をデザインする
教員略歴	一級建築士／(株) 乃村工藝社、ベルラーヘ・インスティテュート・アムステルダム、(株) 山本理顕設計工場を経て、2003 年 AL architects 設立。戸建住宅やケアハウスなどの建築設計に携わる。／主な賞歴:第 18 回福岡県美しいまちづくり建築賞 住宅の部 大賞など。

授業計画	1	建物に関わる概要 住宅設計について
	2	木造住宅のプランニング
	3	〃
	4	平面図の作図（+配置図）
	5	〃
	6	矩計図の作図
	7	〃
	8	立面図の作図
	9	断面図の作図
	10	天井伏図の作図
	11	構造図の作図
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃 プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	住宅設計Ⅱ	担当教員	佐野正樹
-----	-------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	オフィスや店舗を兼ねた併用住宅の計画・設計を行う。構造は主に木造S造混合。プランニング・設計を行い、実施図面（配置図・平面図・立面図・断面図など）の作図・模型製作、プレゼンを通し、仕事の流れをさらに把握・知識を深める。
到達目標	住宅計画について基本を学び、自主設計を通して理解を深める。建物図面の作図から模型製作までを通して、建築の知識・技術・スケール感を養いながら、仕事の流れを把握する。
評価方法	
テキスト 参考書等	建築設計演習・応用編：プロセスで学ぶ独立住居と集合住居の設計 はじめての建築学・建築デザイン基礎編：住宅をデザインする
教員略歴	一級建築士／（株）乃村工藝社、ベルラーヘ・インスティテュート・アムステルダム、（株）山本理顕設計工場を経て、2003年AL architects 設立。戸建住宅やケアハウスなどの建築設計に携わる。／主な賞歴:第18回福岡県美しいまちづくり建築賞 住宅の部 大賞など。

授業計画	1	混合住宅の設計・課題説明・与件整理
	2	併用住宅のプランニング
	3	〃
	4	〃
	5	平面図の作図
	6	〃
	7	〃
	8	立面図の作図
	9	〃
	10	断面図の作図
	11	〃
	12	模型製作
	13	〃
	14	〃
	15	〃 プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	構造プロセス	担当教員	植村明広
-----	--------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	主に木造の名称・特性・寸法・構法などの全般的な理解を深める。同時に構造模型を製作しながら構法について学ぶ。必要に応じ構造設計についても学ぶ。
到達目標	建築構造の特性を、木造に関して修得する。
評価方法	
テキスト 参考書等	初めての建築一般構造 初めての建築構造設計 2級建築士集中テキスト
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	建築構造の概要と分類
	2	木構造の特徴・木材について
	3	軸組構法 構造模型の製作
	4	〃 〃
	5	〃 〃
	6	〃 〃
	7	〃 〃
	8	枠組壁構法 〃
	9	〃 〃
	10	大断面集成材の構造
	11	〃
	12	外部・内部の仕上げ
	13	〃
	14	開口部の仕上げ
	15	テスト

[福岡デザイン専門学校]

科目名	建築材料	担当教員	植村明広
-----	------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	1
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	実例、実物をもとに材料の知識をつける。各材料（床材・天井材・壁材・屋根材・仕上げ材・防水材・防火耐火材・断熱防音材など）の特徴を把握し、活かし方を学ぶ。
到達目標	木造2階建てを中心に、2級建築士程度の知識を修得する。
評価方法	
テキスト 参考書等	初めての建築材料 2級建築士集中テキスト
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	材料に関する基礎知識
	2	構造材料 木材
	3	〃 鋼材
	4	〃 コンクリート
	5	〃 〃
	6	仕上げ材料 木材等
	7	〃 セメント・せっこう等
	8	〃 金属
	9	〃 タイル・れんが・ガラス
	10	〃 石材・左官材・吹付材
	11	〃 畳・繊維・プラスチック
	12	〃 塗料・接着剤
	13	防水材料
	14	防火・耐火材料と断熱・防音材料
	15	テスト

[福岡デザイン専門学校]

科目名	建築法規	担当教員	植村明広
-----	------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	1
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	主に住宅を例にとり、単体規定・集団規定について学び、関連法規（建築基準法・ハートビル法・消防法・都市計画法・耐震改修促進法・建築士法・建設業法など）についても学ぶ。
到達目標	建築基準法を中心に関連法規を修得する。
評価方法	
テキスト 参考書等	初めての建築法規 2級建築士集中テキスト
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	建築法規の概要・用語の定義
	2	単体規定 一般構造
	3	〃 構造強度
	4	〃 防火・内装制限
	5	〃 避難
	6	〃 建築設備
	7	集団規定 道路と敷地
	8	〃 容積率と建蔽率
	9	〃 高さ制限
	10	〃 防火地域
	11	〃 地区と街区
	12	都市計画法・消防法
	13	ハートビル法・住宅品質確保法
	14	耐震改修促進法・建築士法・建設業法
	15	テスト

[福岡デザイン専門学校]

科目名	建築設計 I	担当教員	植村明広
-----	--------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	主に中層や高層の集合住宅群の計画・設計を行う。構造はS造やRC造。プランニング・設計を行い、実施図面（配置図・平面図・立面図・断面図など）の作図・模型製作、プレゼンを行う。また、進行中に建築計画の知識の講義も行う。
到達目標	住宅計画について基本を学び、自主設計を通して理解を深める。建物図面の作図から模型製作までを通して、建築の知識・技術・スケール感を養いながら、仕事の流れを把握する。集合住宅の設計に関する知識を養い理解を深める。
評価方法	
テキスト 参考書等	建築設計演習・応用編：プロセスで学ぶ独立住居と集合住居の設計 建築計画の知識 2級建築士集中テキスト
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	集合住宅群の設計・課題説明・与件整理
	2	資料収集・プランニング
	3	〃
	4	〃
	5	図面の作図（平面・立面・断面等）
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	模型製作
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃 プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	建築設計Ⅱ	担当教員	佐野正樹
-----	-------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	主に公共建築（学生寮・コミュニティセンター）について設計作業を行う。課題説明後、資料収集、エスキス、模型などを進め、プレゼンテーションと批評を行う。
到達目標	建築の全体を実体として把握し、設計課題を通じて、建築についての自分のアイデアをどのように3次元の空間として具体化していくのか、そのプロセスを体験する。公共建築の設計に関する知識を養い、技術を向上させ理解を深める。
評価方法	
テキスト 参考書等	建築設計資料集成
教員略歴	一級建築士／（株）乃村工芸社、ベルラーヘ・インスティテュート・アムステルダム、（株）山本理顕設計工場を経て、2003年AL architects 設立。戸建住宅やケアハウスなどの建築設計に携わる。／主な賞歴:第18回福岡県美しいまちづくり建築賞 住宅の部 大賞など。

授業計画	1	学生寮の設計・課題説明・与件の整理
	2	資料収集・プランニングと知識
	3	図面の作図（平面・立面・断面等）
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	コミュニティセンターの設計・課題説明
	8	資料収集・プランニング
	9	図面の作図（平面・立面・断面等）
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃 模型・パース製作
	14	〃
	15	〃 プレゼンテーションと批評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	施工プロセス	担当教員	植村明広
-----	--------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	1
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	実例・実物を基にさまざまな施工方法を学び、工程計画から管理、各種工事（仮設・土・基礎・鉄筋・型枠・コンクリート・鉄骨・木・防水・屋根・左官・タイル・塗装・建具・ガラス・内装・断熱・設備・外装など）の全般的な理解を深める。積算の知識を習得する。
到達目標	木造2階建てを中心に、2級建築士程度の知識を修得する。
評価方法	
テキスト 参考書等	初めての建築施工 2級建築士集中テキスト
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	施工現場のあらし
	2	木造在来軸組工法・枠組み壁構法の住宅
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	R C造住宅の施工
	7	〃
	8	〃
	9	S造住宅の施工
	10	〃
	11	〃
	12	各種工事の基本
	13	〃
	14	積算に関する知識
	15	テスト

[福岡デザイン専門学校]

科目名	設備プラン	担当教員	植村明広
-----	-------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	1
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	快適性・利便性・安全性・経済性の高い空間を作り出すため、建築物の設備の占める割合は、ますます大きくなっている。その重要な要素である、空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備などを具体的に学ぶ。また、昨今の様々なエネルギー・環境問題についても解説する。
到達目標	建築物に求められる機能をより効果的にする様々な設備に関する基本事項を修得する。
評価方法	
テキスト 参考書等	やさしい建築設備 2級建築士集中テキスト
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	建築設備の概要
	2	空気調和設備 空調負荷
	3	〃 計画と方式
	4	〃 機器と材料
	5	換気設備・排煙設備
	6	給水設備・給湯設備
	7	排水設備・通気設備
	8	衛生器具設備・消火設備
	9	厨房設備
	10	電力設備・ガス設備
	11	照明設備・通信設備
	12	防災設備
	13	防音・音響
	14	省エネルギー・環境問題
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	家具デザインⅠ	担当教員	品川武士
-----	---------	------	------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	デザインする上での必要最小限の知識（材料・構造・フォルム・人間工学等）を修得することから、デザインを発想する上でのプロセスを重視した、実物でモノを考えたり、作るという「手」を使う授業を展開する。また、コンペや実企業への提案というテーマに連動した授業も行う。
到達目標	環境と人との間に位置する家具。インテリアデザインの中では主要な要素でもある。単に家具のカタチをデザインすることではなく、自分で「家具とは？」ということを考え、オリジナルなモノを創造できるようにする。
評価方法	出席状況と課題に対しての評価。（特に自分の中でのレベルアップを重視）
テキスト 参考書等	随時プリント配付
教員略歴	プロダクトデザイナー、家具デザイナー／株式会社木季工房を経て、2006年シナガワデザインスタジオ設立。メーカーへの家具デザインや特注家具のデザイン設計・プロダクトデザイン・アートディレクションを手がける。

授業計画	1	角材面取り・触れる R 定規を作る
	2	合板とロープでつくるスツールデザイン
	3	アイデアスケッチ
	4	スタディ模型での検討
	5	段ボールなどで原寸検討
	6	モックアップ（現物製作）
	7	〃
	8	〃 プレゼンパネル製作（図面を含む）
	9	講評
	10	本棚のデザイン
	11	アイデアスケッチ
	12	模型などでスケール感とディティール確認
	13	〃
	14	講評
	15	椅子のデザイン

[福岡デザイン専門学校]

科目名	家具デザインⅡ	担当教員	品川武士
-----	---------	------	------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	デザインする上での必要最小限の知識（材料・構造・フォルム・人間工学等）を修得することから、デザインを発想する上でのプロセスを重視した、実物でモノを考えたり、作るという「手」を使う授業を展開する。また、コンペや実企業への提案というテーマに連動した授業も行う。
到達目標	環境と人との間に位置する家具。インテリアデザインの中では主要な要素でもある。単に家具のカタチをデザインすることではなく、自分で「家具とは？」ということを考え、オリジナルなモノを創造できるようにする。
評価方法	出席状況と課題に対しての評価。（特に自分の中でのレベルアップを重視）
テキスト 参考書等	随時プリント配付
教員略歴	プロダクトデザイナー、家具デザイナー／株式会社木季工房を経て、2006年シナガワデザインスタジオ設立。メーカーへの家具デザインや特注家具のデザイン設計・プロダクトデザイン・アートディレクションを手がける。

授業計画	1	椅子のデザイン
	2	アイデアスケッチ
	3	スタディ模型での検討
	4	段ボールなどで原寸検討
	5	1/5 模型製作
	6	〃 プレゼンパネル製作（図面を含む）
	7	講評 〃
	8	コートハンガーデザイン
	9	アイデアスケッチ
	10	スタディ模型での検討
	11	モックアップ（現物製作）
	12	〃
	13	〃
	14	〃 プレゼンパネル製作（図面を含む）
	15	講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	プロダクトデザインⅠ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	------------	------	-----------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	素材の特性を学び、成形方法や加工方法の知識を身につける。様々なプロダクトの構造や機構を学習し、コンピュータだけではなく手を使った造形トレーニングをすることでデザイン力を向上させる。
到達目標	コンセプトづくり、アイデア展開からモデル制作、プレゼンテーションまで基本を身につけ、自分なりの提案ができるようになること。プロダクトデザインのプロセスを経験する中で自分たちに何が足りないかを見出し、それを高めていくこと。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	プロダクトデザインのための製図 エコデザインハンドブック ドローイング・モデリング
教員略歴 (主指導)	安田大信：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	プロダクトデザイン概要
	2	課題①（コンペ課題）
	3	コンセプトワーク
	4	〃
	5	〃
	6	プレゼンボード制作
	7	〃
	8	プレゼンテーション
	9	課題②
	10	コンセプトワーク
	11	〃
	12	プロトタイプ制作
	13	〃
	14	プレゼンボード制作
	15	プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	プロダクトデザインⅡ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	------------	------	-----------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	素材の特性を学び、成形方法や加工方法の知識を身につける。様々なプロダクトの構造や機構を学習し、コンピュータだけではなく手を使った造形トレーニングをすることでデザイン力を向上させる。特任講師による授業を開講する。
到達目標	コンセプトづくり、アイデア展開からモデル制作、プレゼンテーションまで基本を身につけ、自分なりの提案ができるようになること。プロダクトデザインのプロセスを経験する中で自分たちに何が足りないかを見出し、それを高めていくこと。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	プロダクトデザインのための製図 エコデザインハンドブック ドローイング・モデリング
教員略歴 (主指導)	安田大信：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	課題③（特任講師課題）
	2	コンセプトワーク
	3	〃
	4	プロトタイプ制作
	5	〃
	6	プレゼンテーション
	7	課題④
	8	コンセプトワーク
	9	〃
	10	〃
	11	プロトタイプ制作
	12	〃
	13	プレゼンボード制作
	14	〃
	15	プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	素材・加工演習Ⅰ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	----------	------	-----------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	立体物をデザインするうえで、素材の特性や加工方法の理解は不可欠です。本授業では、木材を中心とした加工技術を各課題を通じて実践的に習得し、その素材の特性を活かしたプロトタイプ制作およびプレゼンテーションを行います。
到達目標	手を動かし、実素材に触れながら、素材の特性や加工方法を学び、デザイン・制作の幅を広げることを目標とします。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	素材加工辞典
教員略歴 (主指導)	中嶋尚孝：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。美術系予備校、大学、短大などで、デッサンや立体構成、平面構成、金属工芸など指導。鑄造作品（ブロンズ、ステンレス）の制作。彫刻、モニュメント、聖火台、プロダクトデザイン、住宅、空間デザインなどの企画、制作を手掛ける。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	工具の使用方法和注意点
	3	〃
	4	電動工具の使用方法和注意点
	5	〃
	6	木材の種類と特性
	7	〃
	8	木材の加工
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	空間家具演習Ⅰ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	---------	------	-----------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	さまざまな空間（住宅、商業施設、公共施設など）において、空間の質を高めるために家具が特注で設計されることがあります。与えられた空間の用途や特徴を踏まえながら、素材、寸法、動線といった要素を考慮し、家具の設計に取り組みます。
到達目標	空間の使用用途に合わせた素材、寸法の選定をしたデザインができること。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	安田大信：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	課題 1
	3	〃 模型制作
	4	〃
	5	〃
	6	〃 図面製作
	7	〃
	8	〃
	9	〃 講評会
	10	課題 2
	11	〃 コンセプトワーク
	12	〃 模型制作
	13	〃 図面・プレゼンボード制作
	14	〃 講評会
	15	課題 3

[福岡デザイン専門学校]

科目名	製図演習Ⅰ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	-------	------	-----------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	家具デザインの科目と連携し、デザインプロセスを通じてスケッチパースや製図の基本技術を習得します。また、原寸大の図面作成を通じて、実物スケールに対する理解と感覚を養います。
到達目標	第三者に正確に形状やサイズを伝える技術を習得すること。 スケッチパースでアイデアを明確に伝える技術を習得すること。
評価方法	課題に対して正確な作図ができているか。 スケッチパースで的確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	中嶋尚孝：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。美術系予備校、大学、短大などで、デザインや立体構成、平面構成、金属工芸など指導。鑄造作品（ブロンズ、ステンレス）の制作。彫刻、モニュメント、聖火台、プロダクトデザイン、住宅、空間デザインなどの企画、制作を手掛ける。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	製図課題1（三面図）
	3	〃
	4	製図課題2（スケッチパース）
	5	〃
	6	〃（三面図）
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	製図課題3（スケッチパース）
	11	〃（三面図）
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	デジタルモデリングⅡ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	------------	------	-----------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	企画提案やデザインのプレゼンテーションにおいて、3DCG は重要なコミュニケーション手段のひとつです。課題に沿って 3DCG ソフトを用いたモデリングおよびレンダリングを行い、さらに Photoshop や Illustrator を活用してプレゼンテーションボードを制作することで、視覚的表現力と提案力の向上を図ります。
到達目標	3DCG のモデリング技術、レンダリング技術を高め、リアリティのある画づくりができること。アイデアを伝えるためのプレゼンテーションボードを的確につくることができること。
評価方法	課題に対して的確なモデリングができているか。 プレゼンテーションで的確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	安田大信：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	操作の復習とサーフェスモデリング
	2	モデリング課題 1
	3	〃 ライノセラス (モデリング)
	4	〃
	5	〃 ライノセラス (レンダリング)
	6	〃 フォトショッブ
	7	〃 イラストレーター
	8	〃 課題提出 プレゼンテーション
	9	モデリング課題 2
	10	〃 ライノセラス (モデリング)
	11	〃
	12	〃 ライノセラス (レンダリング)
	13	〃 フォトショッブ
	14	〃 イラストレーター
	15	〃 課題提出 プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	造形演習	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	------	------	-----------

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	プロトタイプ制作を通じて、手を動かしながら美しさと機能性を両立する形態を探求します。素材の特性を理解し、それを活かしたデザインを構想・制作し、最終的にプレゼンテーションによって成果を発表します。
到達目標	成果物の構造を理解したうえで素材の特徴、特性とその加工方法を学習すること。 素材や機能に応じて、美しく機能的なものがつくれること。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションで的確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	中嶋尚孝：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。美術系予備校、大学、短大などで、デザインや立体構成、平面構成、金属工芸など指導。 casting作品（ブロンズ、ステンレス）の制作。彫刻、モニュメント、聖火台、プロダクトデザイン、住宅、空間デザインなどの企画、制作を手掛ける。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	造形課題
	3	〃 アイデア出し
	4	〃
	5	〃 モデルによる形状の検討
	6	〃
	7	〃
	8	中間プレゼンテーション
	9	〃 モデルによる形状の検討
	10	〃
	11	〃 プロトタイプ制作
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃 プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	家具構造演習	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	--------	------	-----------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	実用に耐える家具をデザインするためには、構造に関する知識が不可欠です。1/5 スケール模型や原寸模型の制作を通じて、設計した家具に求められる素材の強度や加工性、さらに木材の継手・仕口といった接合技術について実践的に学びます。
到達目標	素材の特性を知り、荷重に耐えるために必要な寸法や素材同士の接合方法を設計に落とし込みリアリティのある家具がデザインできるようになること。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	名作椅子の解体新書 名作椅子の解体新書 2
教員略歴 (主指導)	安田大信：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	家具課題 1 (1/5 模型制作)
	2	〃
	3	〃
	4	〃 講評会
	5	家具課題 2 (実寸模型制作)
	6	〃 アイデア出し
	7	〃
	8	〃 1/5 模型制作
	9	〃
	10	〃
	11	〃 実寸模型制作
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃 講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	製図演習Ⅱ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	-------	------	-----------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	家具デザインの科目と連携し、デザインプロセスを通じてスケッチパースや製図の基本技術を習得します。また、原寸大の図面作成を通じて、実物スケールに対する理解と感覚を養います。
到達目標	第三者に正確に形状やサイズを伝える技術を習得すること。 スケッチパースでアイデアを明確に伝える技術を習得すること。
評価方法	課題に対して正確な作図ができているか。 スケッチパースで的確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	中嶋尚孝：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。美術系予備校、大学、短大などで、デッサンや立体構成、平面構成、金属工芸など指導。 casting 作品（ブロンズ、ステンレス）の制作。彫刻、モニュメント、聖火台、プロダクトデザイン、住宅、空間デザインなどの企画、制作を手掛ける。

授業計画	1	製図課題1（スケッチパース）
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃（三面図）
	6	〃
	7	〃
	8	製図課題2（スケッチパース）
	9	〃
	10	〃（原寸図）
	11	〃
	12	〃（三面図）
	13	〃
	14	〃
	15	まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	エコパッケージデザイン	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	-------------	------	-----------

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	現代のデザインにおいて、環境への配慮は重要な評価基準のひとつです。内容物の保護、商品の情報を伝える、商品の価値をアピールといったパッケージの基本機能に加え、サステナブルな素材を使用したパッケージデザインを学習します。
到達目標	リユース、リデュース、リサイクルの視点から環境負荷の低減を念頭に置いたパッケージデザインができること。内容物に合わせて、的確な構造、素材を用いたデザインができること。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションで的確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	安田大信：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	エコマテリアルとは
	2	パッケージ課題 1
	3	〃 アイデア出し・素材検討
	4	〃 プロトタイプ制作
	5	〃 講評会
	6	パッケージ課題 2
	7	〃 アイデア出し・素材検討
	8	〃
	9	〃
	10	〃 検討模型制作
	11	〃
	12	〃
	13	〃 プロトタイプ制作
	14	〃
	15	〃 講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	プラスデザイン	担当教員	全教員
-----	---------	------	-----

学 年	2	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門教養		

授業概要	他の分野のデザインワークを、コンペ課題に取り組むことで経験し、デザイン力・センスの向上、出来ることの幅を広げていく。
到達目標	広い視野を持ち、デザインの仕事であれば、何でもチャレンジする精神を持つこと。
評価方法	
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	

授業計画	1	コンペ①
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	コンペ②
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	コンペ③
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	総合造形Ⅰ	担当教員	全教員
-----	-------	------	-----

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	造形基礎		

授業概要	学生それぞれの専攻に必要な造形力を身に付ける過程の中で、発想・展開・表現を追求しながら自己のテーマを探る。連続した課題の中で、忍耐が楽しみに変わるまでこだわる。
到達目標	基礎的な造形力と展開力を身につける。 生活のありふれた中に転がっている造形のヒントに気付くようになる。 モノ、コトを考えることが生活習慣になる。
評価方法	着眼点の独自性と発想のユニークさ。 提出作品の完成度。 制作過程における閃き、柔軟性、展開力、集中力、こだわりを総合的に判断する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	

授業計画	1	課題①
	2	コンセプトワーク
	3	〃
	4	〃
	5	クリティーク
	6	課題②
	7	コンセプトワーク
	8	〃
	9	〃
	10	クリティーク
	11	課題③
	12	コンセプトワーク
	13	〃
	14	〃
	15	クリティーク

[福岡デザイン専門学校]

科目名	総合造形Ⅱ	担当教員	全教員
-----	-------	------	-----

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	造形基礎		

授業概要	学生それぞれの専攻に必要な造形力を身に付ける過程の中で、発想・展開・表現を追求しながら自己のテーマを探る。連続した課題の中で、忍耐が楽しみに変わるまでこだわる。
到達目標	基礎的な造形力と展開力を身につける。 生活のありふれた中に転がっている造形のヒントに気付くようになる。 モノ、コトを考えることが生活習慣になる。
評価方法	着眼点の独自性と発想のユニークさ。 提出作品の完成度。 制作過程における閃き、柔軟性、展開力、集中力、こだわりを総合的に判断する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	

授業計画	1	課題④
	2	コンセプトワーク
	3	〃
	4	〃
	5	クリティーク
	6	課題⑤
	7	コンセプトワーク
	8	〃
	9	〃
	10	クリティーク
	11	課題⑥
	12	コンセプトワーク
	13	〃
	14	〃
	15	クリティーク

[福岡デザイン専門学校]

科目名	自主研究Ⅰ	担当教員	全教員
-----	-------	------	-----

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	特別研究		

授業概要	各自のテーマに沿って、デザインの手法での解決方法を探り、作品制作、企画書、レポート制作、プレゼンテーションを実施する。
到達目標	各自の抱えるテーマや、社会の抱える様々な問題を深く掘り下げ、デザイナーとしての自主性、計画性、実行力を身につけ、果たす役割と社会性を理解する。
評価方法	出席状況、作品、企画書、レポート、プレゼンテーションを総合評価する。
テキスト 参考書等	各自で必要に応じて揃えること。
教員略歴	

授業計画	1	オリエンテーション
	2	各自、計画に沿って進める
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーションと総括

[福岡デザイン専門学校]

科目名	自主研究Ⅱ	担当教員	全教員
-----	-------	------	-----

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	特別研究		

授業概要	各自のテーマに沿って、デザイン的手法での解決方法を探り、作品制作、企画書、レポート制作、プレゼンテーションを実施する。
到達目標	各自の抱えるテーマや、社会の抱える様々な問題を深く掘り下げ、デザイナーとしての自主性、計画性、実行力を身につけ、果たす役割と社会性を理解する。
評価方法	出席状況、作品、企画書、レポート、プレゼンテーションを総合評価する。
テキスト 参考書等	各自で必要に応じて揃えること。
教員略歴	

授業計画	1	オリエンテーション
	2	各自、計画に沿って進める
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーションと総括

[福岡デザイン専門学校]

科目名	ポートフォリオ制作	担当教員	全教員
-----	-----------	------	-----

学 年	2	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	特別研究		

授業概要	ポートフォリオは、自分のデザインや能力を相手に伝えるための作品集です。ポートフォリオとは何かを理解し、過去の作品を整理・分類・手直しをする。相手が何を求めているか分析する。相手に伝わるポートフォリオ、少ない文字量でわかりやすい説明文、スッキリしたページ構成、作品が見やすいレイアウトを学びます。
到達目標	効果的なポートフォリオを完成させることを目標とします。
評価方法	ポートフォリオの完成度をもって総合的に評価する。
テキスト 参考書等	過去の学生の制作したポートフォリオ。 必要に応じ資料配布
教員略歴	

授業計画	1	ポートフォリオの重要性
	2	自己アピールできるポートフォリオとは
	3	読み手に配慮して作られたポートフォリオとは
	4	文章を書く（コンセプト、作品キャプション）
	5	トーン & マナーについて
	6	レイアウト 及び ページ構成について
	7	作品写真の撮影について
	8	プレ制作からのブラッシュアップ
	9	〃
	10	〃
	11	中間チェック・講評会
	12	ブラッシュアップ
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーション・講評会

[福岡デザイン専門学校]

応用デザインプログラム

《 対象学科・学年 》

クリエイティブデザイン学科 3年次

イノベティブデザイン学科

科目名	グラフィック・編集ⅣA	担当教員	山田英二
-----	-------------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	各自でオリジナルの書籍の創刊を想定してコンセプト～フィニッシュワークまでを行う。
到達目標	タイポグラフィを基本に文字や組版についての知識を深め、ページデザインを中心に専門化・細分化する編集業界に対応できるスキルを身につけます。
評価方法	作品の内容、授業への取り組み方、出席状況で総合評価します。
テキスト 参考書等	情報誌、カタログ、パンフレット、雑誌などを随時指示し、各自準備する。
教員略歴	アートディレクター、グラフィックデザイナー／東京にて1998年「ウルトラグラフィックス」を設立、2012年同社退社後、本校特任講師に就任。グラフィックデザインをはじめ、広告・コマーシャル、商品企画開発、プロダクトデザイン、ネットサービスの運営など業種の垣根なく活動。

授業計画	1	フライヤー（リデザイン）
	2	〃
	3	〃
	4	講評
	5	架空会社のブランディング
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	講評
	12	フリーペーパーの表紙（ブランディング）
	13	〃
	14	〃
	15	講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集VA	担当教員	山田英二
-----	-------------	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	各自でオリジナルの書籍の創刊を想定してコンセプト～フィニッシュワークまでを行う。
到達目標	タイポグラフィを基本に文字や組版についての知識を深め、ページデザインを中心に専門化・細分化する編集業界に対応できるスキルを身につけます。
評価方法	作品の内容、授業への取り組み方、出席状況で総合評価します。
テキスト 参考書等	情報誌、カタログ、パンフレット、雑誌などを随時指示し、各自準備する。
教員略歴	アートディレクター、グラフィックデザイナー／東京にて1998年「ウルトラグラフィックス」を設立、2012年同社退社後、本校特任講師に就任。グラフィックデザインをはじめ、広告・コマーシャル、商品企画開発、プロダクトデザイン、ネットサービスの運営など業種の垣根なく活動。

授業計画	1	フリーペーパーの中身（ブランディング）
	2	〃
	3	〃
	4	講評
	5	架空会社のブランディング
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	講評
	10	架空会社のブランディング
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集IVB	担当教員	武永茂久
-----	--------------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	・デザインコンペティションへの積極参加。 ・企業タイアップによる実践課題への取り組み。 ・学生発信による課題制作。
到達目標	1：物事の本質を探り、課題解決のための企画力・表現力を身につける。 2：1を通して各々のアイデンティティを考察し、人間力を深めることを目標とする。 3：自主的な課題探求とその解決に取り組む姿勢を育む。
評価方法	提出作品の優劣を基本に、出席状況、授業態度を加味して総合的に評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じて告知。またはプリント配布。
教員略歴	武永デザイン事務所代表（グラフィックデザイナー、JAGDA正会員）グラフィックを主体としたコミュニケーションデザインの立場から企業や店舗、商品などのブランディングや広報プロデュースに従事。また、デザインを通しての教育、啓発活動にも関わっている。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	コンペ出品制作 / 企業課題
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	プレゼン・講評
	8	ブランディング課題 / 企業課題
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼン・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集VB	担当教員	武永茂久
-----	-------------	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	・デザインコンペティションへの積極参加。 ・企業タイアップによる実践課題への取り組み。 ・学生発信による課題制作。
到達目標	1：物事の本質を探り、課題解決のための企画力・表現力を身につける。 2：1を通して各々のアイデンティティを考察し、人間力を深めることを目標とする。 3：自主的な課題探求とその解決に取り組む姿勢を育む。
評価方法	提出作品の優劣を基本に、出席状況、授業態度を加味して総合的に評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じて告知。またはプリント配布。
教員略歴	武永デザイン事務所代表（グラフィックデザイナー、JAGDA 正会員）グラフィックを主体としたコミュニケーションデザインの立場から企業や店舗、商品などのブランディングや広報プロデュースに従事。また、デザインを通しての教育、啓発活動にも関わっている。

授業計画	1	自由課題 / 企業課題
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	講評
	6	最終課題
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	中間講評
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼン・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集IVC	担当教員	武藤宏則
-----	--------------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	課題によってターゲット・コンセプトを設定し、必要な制作物を自身で考慮決定しフィニッシュワークまで。 デザインコンペへの応募も積極的に行います。
到達目標	タイポグラフィを基本に文字や組版についての知識を深め、ページデザインを中心に専門化・細分化する編集業界に対応できるスキルを学ぶ。 テーマを設定して、ターゲットに向けたブランディングの重要性も学習します。
評価方法	各課題は、制作物とデータで提出。全員でプレゼンテーションをした後、学生全員で投票・質疑応答をして、その評価と、作品の完成度、授業への取り組み方、出席状況を合わせて総合評価します。
テキスト 参考書等	デザイン解体新書 工藤強勝監修 デザイナーズハンドブック デザイナーをめざす人の装丁・ブックデザイン
教員略歴	グラフィックデザイナー、カリグラファー／印刷会社の制作室、デザインプロダクション勤務を経て1997年よりフリーランス。企業の社内報や商品カタログ、パンフレットやパッケージデザインなどグラフィックデザイン全般に携わる。／日本タイポグラフィ協会会員

授業計画	1	定形郵便とリーフレットデザイン
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	インフォグラフィックデザイン
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	グッドデザインのポートフォリオ 冊子制作
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集VC	担当教員	武藤宏則
-----	-------------	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	課題によってターゲット・コンセプトを設定し、必要な制作物を自身で考慮決定しフィニッシュワークまで。 デザインコンペへの応募も積極的に行います。
到達目標	タイポグラフィを基本に文字や組版についての知識を深め、ページデザインを中心に専門化・細分化する編集業界に対応できるスキルを学ぶ。 テーマを設定して、ターゲットに向けたブランディングの重要性も学習します。
評価方法	各課題は、制作物とデータで提出。全員でプレゼンテーションをした後、学生全員で投票・質疑応答をして、その評価と、作品の完成度、授業への取り組み方、出席状況を合わせて総合評価します。
テキスト 参考書等	デザイン解体新書 工藤強勝監修 デザイナーズハンドブック デザイナーをめざす人の装丁・ブックデザイン
教員略歴	グラフィックデザイナー、カリグラファー／印刷会社の制作室、デザインプロダクション勤務を経て1997年よりフリーランス。企業の社内報や商品カタログ、パンフレットやパッケージデザインなどグラフィックデザイン全般に携わる。／日本タイポグラフィ協会会員

授業計画	1	雑誌のページレイアウト
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	ブランディングデザイン
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集IVD	担当教員	吉田朋史
-----	--------------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	ブランディングや、より高度なタイポグラフィやポスター表現などグラフィックデザインの制作実習。
到達目標	様々なメディアや表現を用いて、ブランディングやより豊かなコミュニケーションの成立を目指す。
評価方法	提出作品によって下記項目について評価します。 造形の精度・発想力やアイデア・独創性・問題解決力・情報整理・情報設計ができているか・コミュニケーションが成立しているか。
テキスト 参考書等	各種図録・事例集などを授業に合わせて準備。
教員略歴	株式会社 9P 代表取締役。2014 年株式会社 9P、2017 年 TISSUE Inc.設立。グラフィックデザイナー・アートディレクターとして、福岡県内外を問わず CI・VI、広告、書籍、web、ショップブランディングなど幅広く手がける。

授業計画	1	オリエンテーション・アイデア演習
	2	タイポグラフィを用いたコミュニケーションデザイン
	3	〃
	4	〃
	5	商品広告デザイン
	6	〃
	7	〃
	8	グラフィックポスター制作
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	ブランディング演習 ロゴ・各種ツール制作
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	グラフィック・編集VD	担当教員	吉田朋史
-----	-------------	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	社会課題を解決するためのデザインプランニング。
到達目標	課題を発見し、様々なメディア・表現を駆使してデザインで解決するためのアプローチを学ぶ。
評価方法	提出作品によって下記項目について評価します。 造形の精度・発想力やアイデア・独創性・問題解決力・情報整理・情報設計ができているか・コミュニケーションが成立しているか。
テキスト 参考書等	各種図録・事例集などを授業に合わせて準備。
教員略歴	株式会社 9P 代表取締役。2014 年株式会社 9P、2017 年 TISSUE Inc.設立。グラフィックデザイナー・アートディレクターとして、福岡県内外を問わず CI・VI、広告、書籍、web、ショップブランディングなど幅広く手がける。

授業計画	1	社会課題を発見し、デザインで解決する
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	卒業制作
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web・映像IVA	担当教員	田代順三
-----	-----------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	Webデザイン概論/トレンド講座。グラフィック作成ソフト、インターフェース・デザイン・ツールを使用して、Web画面デザインの制作/構築。 コードエディターを使用して、HTML/CSS・JavaScriptを使ったサイト制作の学習。
到達目標	Web デザイン制作の技術習得。画面レイアウトデザインとユーザビリティの高い Web サイトの構築。UI/UX 構築。 マークアップ言語 (HTML/CSS) のコーディング技術の習得。マルチデバイス対応のレスポンシブサイトの構築。
評価方法	課題によるデザインの表現レベル、ユーザーインターフェースの構築、ユーザビリティの高さ、ユーザーエクスペリエンス達成度の評価。コーディング（マークアップ言語HTML記載、CSSの記載理解力）の評価。プレゼンテーションによる評価。授業態度による評価。
テキスト 参考書等	必要時に解説プリントまたは PDF 配布。
教員略歴	製版会社デザイナーを経て、マルチメディア系コンテンツ制作会社で、グラフィックデザイン、デジタルコンテンツ制作、Webデザイン構築に従事。1998年にフリーランスとなり、主にWeb制作、UI/UXデザイナーとして活動。日本イラストレーション協会（JILLA）会員。

授業計画	1	テーマ課題
	2	〃
	3	〃 HTML コーディング
	4	〃
	5	〃
	6	インフォグラフィックス Web サイト制作
	7	〃
	8	〃 HTML コーディング
	9	〃
	10	仮想企業 Web サイト制作（レスポンス）
	11	〃
	12	〃
	13	〃 HTML コーディング
	14	〃
	15	発表会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web・映像VA	担当教員	田代順三
-----	----------	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	Webデザイン概論/トレンド講座。グラフィック作成ソフト、インターフェース・デザイン・ツールを使用して、Web画面デザインの制作/構築。 コードエディターを使用して、HTML/CSS・JavaScriptを使ったサイト制作の学習。
到達目標	Web デザイン制作の技術習得。画面レイアウトデザインとユーザビリティの高い Web サイトの構築。UI/UX 構築。 マークアップ言語 (HTML/CSS) のコーディング技術の習得。マルチデバイス対応のレスポンシブサイトの構築。
評価方法	課題によるデザインの表現レベル、ユーザーインターフェースの構築、ユーザビリティの高さ、ユーザーエクスペリエンス達成度の評価。コーディング (マークアップ言語 HTML 記載、CSS の記載理解力) の評価。プレゼンテーションによる評価。授業態度による評価。
テキスト 参考書等	必要時に解説プリントまたは PDF 配布。
教員略歴	製版会社デザイナーを経て、マルチメディア系コンテンツ制作会社で、グラフィックデザイン、デジタルコンテンツ制作、Web デザイン構築に従事。1998 年にフリーランスとなり、主に Web 制作、UI/UX デザイナーとして活動。日本イラストレーション協会 (JILLA) 会員。

授業計画	1	自由課題 (企画立案)
	2	〃
	3	〃
	4	自由課題 (デザイン)
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	自由課題 (HTML コーディング)
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web・映像IVB	担当教員	下村晋一
-----	-----------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	プログラミングを主体として、主に技術面（テクニカル）に特化した授業を行います。HTML で文書構造の組み立て方を学び、CSS で画面のレイアウト設計や画像・文字情報の見やすさや使いやすさを、JavaScript でモーションや音などの動的な体験を作ります。コードを一緒に書きながら、UI やインタラクション周りの基礎的な実装方法を解説します。
到達目標	Web の仕組みを体系的に学びます。あらゆるディスプレイに表示される画面表示に採用されている HTML の理解。Web を使ってどんな視覚コミュニケーションが作れるかを探る。
評価方法	①プログラミングの基礎的な理解力 ②アイデアを形にする思考力 ③なぜ？どうして？に対する論理的な回答力 ④上記に加え、課題に取り組む姿勢や出席状況を加味して総合的に判断します。
テキスト 参考書等	Web デザイン・スタンダード 伝わるビジュアルづくりとクリエイティブの最新技法 スラスラ読める JavaScript ふりがなプログラミング
教員略歴	株式会社ファイブ 代表取締役／テクニカルディレクター／印刷会社と広告デザイン会社を経て、2019 年 4 月に 5ive Inc.を設立。リトラシェアオフィスを共同運営。同オフィスメンバーを軸に、課題解決を最優先しブランディングや商品開発などのクリエイティブ全般に携わる。

授業計画	1	研究課題（リサーチ）
	2	研究課題（リサーチ）
	3	研究課題（企画）
	4	研究課題（企画）
	5	中間発表
	6	研究課題（制作）
	7	研究課題（制作）
	8	研究課題（制作）
	9	研究課題（制作）
	10	発表
	11	自由課題（リサーチ）
	12	自由課題（リサーチ）
	13	自由課題（リサーチ）
	14	自由課題（企画）
	15	自由課題（企画）

[福岡デザイン専門学校]

科目名	Web・映像VB	担当教員	下村晋一
-----	----------	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	プログラミングを主体として、主に技術面（テクニカル）に特化した授業を行います。HTML で文書構造の組み立て方を学び、CSS で画面のレイアウト設計や画像・文字情報の見やすさや使いやすさを、JavaScript でモーションや音などの動的な体験を作ります。コードを一緒に書きながら、UI やインタラクション周りの基礎的な実装方法を解説します。
到達目標	Web の仕組みを体系的に学びます。あらゆるディスプレイに表示される画面表示に採用されている HTML の理解。Web を使ってどんな視覚コミュニケーションが作れるかを探る。
評価方法	①プログラミングの基礎的な理解力 ②アイデアを形にする思考力 ③なぜ？どうして？に対する論理的な回答力 ④上記に加え、課題に取り組む姿勢や出席状況を加味して総合的に判断します。
テキスト 参考書等	Web デザイン・スタンダード 伝わるビジュアルづくりとクリエイティブの最新技法 スラスラ読める JavaScript ふりがなプログラミング
教員略歴	株式会社ファイブ 代表取締役／テクニカルディレクター／印刷会社と広告デザイン会社を経て、2019 年 4 月に 5ive Inc.を設立。リトラシェアオフィスを共同運営。同オフィスメンバーを軸に、課題解決を最優先しブランディングや商品開発などのクリエイティブ全般に携わる。

授業計画	1	自由課題（企画）
	2	自由課題（企画）
	3	自由課題（企画）
	4	自由課題（制作）
	5	自由課題（制作）
	6	自由課題（制作）
	7	中間発表
	8	自由課題（制作）
	9	自由課題（制作）
	10	自由課題（制作）
	11	自由課題（制作）
	12	自由課題（制作）
	13	自由課題（制作）
	14	自由課題（制作）
	15	発表・まとめ・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	パッケージデザインⅢ	担当教員	西畑晴美・平田すづ子
-----	------------	------	------------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	企業課題として市場調査や企業見学を行い、それ等を商品構成及びパッケージに反映させた完成作品で外部の客観的評価を受ける。集大成としての卒業制作で学内、学外の評価を受け、修学の成果と自己判定の確立を目指す。
到達目標	最終学年として外部の目を通し、自己能力を認識し、統合を図る。新鮮な切口やオリジナリティを加味し、企画し構成した商品を、パッケージの構造やグラフィックにて表現する。意欲を持って最後まで走り抜く力をつける。
評価方法	作品の全体像、進むべき方向を把握出来ているかという点に留意し、直感力、想像力、課題への理解度、発展させる能力、課題に取り組む姿勢、課題への理解度、表現手法、完成度、出席状況それ等を総合的に判断し評価する。
テキスト 参考書等	「年鑑日本のパッケージデザイン」 「箱のパッケージデザイン最新ベスト1 2 5 」
教員略歴	西畑晴美：本校学校長。大阪芸術大学非常勤講師。グラフィックデザイナー・シューズデザイナー・ギフトラッピングコーディネーター。シューズメーカーにてシューズデザイン、企画、試作、パターン制作等を行う。産学連携事業で商品パッケージ・ラベルデザインを指導。

授業計画	1	企業課題
	2	〃 市場調査・工場見学
	3	〃 市場調査・企画・コンセプト立案
	4	〃 企画制作
	5	〃 構造・グラフィック計画
	6	〃 構造・グラフィック計画
	7	〃 ラフパッケージ制作・グラフィック実作
	8	〃 ラフパッケージ制作調整・グラフィック実作
	9	〃 実作商品データ制作
	10	〃 実作商品データ制作
	11	〃 実作（印刷・撮影）
	12	〃 実作（印刷・撮影）
	13	〃 実作（印刷・撮影）
	14	〃 企画書制作
	15	プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	パッケージデザインⅣ	担当教員	西畑晴美・平田すづ子
-----	------------	------	------------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	企業課題として市場調査や企業見学を行い、それ等を商品構成及びパッケージに反映させた完成作品で外部の客観的評価を受ける。集大成としての卒業制作で学内、学外の評価を受け、修学の成果と自己判定の確立を目指す。
到達目標	最終学年として外部の目を通し、自己能力を認識し、統合を図る。新鮮な切口やオリジナリティを加味し、企画し構成した商品を、パッケージの構造やグラフィックにて表現する。意欲を持って最後まで走り抜く力をつける。
評価方法	作品の全体像、進むべき方向を把握出来ているかという点に留意し、直感力、想像力、課題への理解度、発展させる能力、課題に取り組む姿勢、課題への理解度、表現手法、完成度、出席状況それ等を総合的に判断し評価する。
テキスト 参考書等	「年鑑日本のパッケージデザイン」 「箱のパッケージデザイン最新ベスト1 2 5 」
教員略歴	西畑晴美：本校学校長。大阪芸術大学非常勤講師。グラフィックデザイナー・シューズデザイナー・ギフトラッピングコーディネーター。シューズメーカーにてシューズデザイン、企画、試作、パターン制作等を行う。産学連携事業で商品パッケージ・ラベルデザインを指導。

授業計画	1	最終課題
	2	〃 制作作品コンセプト立案
	3	〃 マーケティング活動
	4	〃 企画・コンセプトの作成
	5	〃 企画・コンセプトの作成
	6	〃 構造・実作・グラフィック計画
	7	〃 構造・実作・グラフィック計画
	8	〃 構造・実作・グラフィック実作
	9	〃 構造・実作・グラフィック実作
	10	〃 構造・実作・グラフィック実作
	11	〃 実作・グラフィック実作
	12	〃 実作・グラフィック（印刷・撮影）
	13	〃 実作・グラフィック（印刷・撮影）
	14	〃 撮影・企画書制作
	15	発表会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	映像Ⅲ	担当教員	宇佐美毅
-----	-----	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	1. 映像表現（アートアニメーション、モーションインフォグラフィクス、インタラクティブ）の枠組みの中で理論・表現・技術を研究させます。 2. 課題に対し、あるいは自ら課題を設定し、自分に合った表現や手段を模索させます。 3. 基本は個別指導ですが、適宜視察、共同制作、発表を行います。
到達目標	独創的で論理的な力強い映像表現を実現することを目標とします。長期にわたる映像制作の中で必要な、制作管理やモチベーションを維持する方法を学んでもらいます。また、リサーチ、プレゼンテーション、共同制作の経験を積み、実際の現場で大いに活躍できる人材を育てます。
評価方法	表現力、独創性（自身に根ざしているか）、論理性（目的と表現が合っているか）、制作管理能力を評価軸とし、それに出席、課題提出状況、授業や制作に対する姿勢を加味し総合的に評価します。
テキスト 参考書等	TRAERA http://toraera.com/ DENPO-ZI https://www.youtube.com/user/DENPOZI/ AEP PROJECT http://ae-users.com/jp/ バカ・アフター http://baaaf.com/
教員略歴	アニメーションディレクター、デザイナー／クリエイティブ・ラボ anno lab（あのラボ）所属。断面アニメーション博士。アナログ寄りのアニメーション、科学コンテンツ、知育玩具など、体験者の日常が遊びと学びで豊かになることを願って制作している。

授業計画	1	映像表現についての講義
	2	映像研究
	3	コンセプトワーク
	4	ビデオコンテ
	5	〃
	6	制作
	7	〃
	8	プレゼンテーション
	9	コンテンツ視察
	10	コンセプトワーク
	11	ビデオコンテ
	12	〃
	13	制作
	14	〃
	15	映像表現についての講義

[福岡デザイン専門学校]

科目名	映像Ⅳ	担当教員	宇佐美毅
-----	-----	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	1. 映像表現（アートアニメーション、モーションインフォグラフィクス、インタラクティブ）の枠組みの中で理論・表現・技術を研究させます。 2. 課題に対し、あるいは自ら課題を設定し、自分に合った表現や手段を模索させます。 3. 基本は個別指導ですが、適宜視察、共同制作、発表を行います。
到達目標	独創的で論理的な力強い映像表現を実現することを目標とします。長期にわたる映像制作の中で必要な、制作管理やモチベーションを維持する方法を学んでもらいます。また、リサーチ、プレゼンテーション、共同制作の経験を積み、実際の現場で大いに活躍できる人材を育てます。
評価方法	表現力、独創性（自身に根ざしているか）、論理性（目的と表現が合っているか）、制作管理能力を評価軸とし、それに出席、課題提出状況、授業や制作に対する姿勢を加味し総合的に評価します。
テキスト 参考書等	TRAERA http://toraera.com/ DENPO-ZI https://www.youtube.com/user/DENPOZI/ AEP PROJECT http://ae-users.com/jp/ バカ・アフター http://baaaf.com/
教員略歴	アニメーションディレクター、デザイナー／クリエイティブ・ラボ anno lab（あのラボ）所属。断面アニメーション博士。アナログ寄りのアニメーション、科学コンテンツ、知育玩具など、体験者の日常が遊びと学びで豊かになることを願って制作している。

授業計画	1	コンセプトワーク
	2	ビデオコンテ
	3	〃
	4	中間プレゼンテーション
	5	制作
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	中間プレゼンテーション
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	最終プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	イラスト・アートⅢ	担当教員	津島タカシ
-----	-----------	------	-------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	2年生で習得した技法や表現方法を元に、自己表現と社会との繋がりを意識した作品づくりを行います。実社会におけるイラストレーションやアートの使命や役割を理解しながら制作に取り組みます。
到達目標	自己の表現を具体化し、それを実社会の中でどのような形で活かすのかを個々が深く考え、形にすることを目標とします。イラストレーションやアートの現場で活動できる思考と技術の体得を目指します。
評価方法	出席状況、受講態度、課題の表現レベルや把握の程度により総合評価します。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配付。
教員略歴	イラストレーター。広告会社勤務後フリーランス。広告、パッケージ、ファッション、テキストイル、絵本など国内外で制作。陶器の絵皿や型染め、アナログとデジタルを融合させたジクレー作品なども制作。アートワークショップも行う。

授業計画	1	オリジナルイラスト研究
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	大判イラスト（オリジナルイラストの世界観の表現）
	6	展覧会作品制作
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	公募展作品制作
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	イラスト・アートⅣ	担当教員	津島タカシ
-----	-----------	------	-------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	2年生で習得した技法や表現方法を元に、自己表現と社会との繋がりを意識した作品づくりを行います。実社会におけるイラストレーションやアートの使命や役割を理解しながら制作に取り組みます。
到達目標	自己の表現を具体化し、それを実社会の中でどのような形で活かすのかを個々が深く考え、形にすることを目標とします。イラストレーションやアートの現場で活動できる思考と技術の体得を目指します。
評価方法	出席状況、受講態度、課題の表現レベルや把握の程度により総合評価します。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配付。
教員略歴	イラストレーター。広告会社勤務後フリーランス。広告、パッケージ、ファッション、テキストイル、絵本など国内外で制作。陶器の絵皿や型染め、アナログとデジタルを融合させたジクレー作品なども制作。アートワークショップも行う。

授業計画	1	公募展作品制作
	2	〃
	3	〃
	4	まとめ 批評
	5	最終自由課題
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	最終プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	CG III	担当教員	土井貴一郎
-----	--------	------	-------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	3DCG ソフト Blender を使用して 3DCG 概要から、モデリング、マテリアルの設定、テクスチャリング、ライティング、カメラアングル、アニメーション等、順を追って 3DCG を総合的に演習します。
到達目標	3DCGの基礎を理解し、形状や各種設定を的確に行える総合的な習得を目標とします。 グラフィックデザインに 3DCG を取り入れる手法や、多様化するデジタルコンテンツへの応用等、柔軟な発想力の向上を併せ持ったデザイナーの育成を目指します。
評価方法	出席状況、授業に対する姿勢、課題の提出状況や完成度に応じて評価します。
テキスト 参考書等	適時指導
教員略歴	3DCG デザイナー/国産 3DCG ソフトの開発、制作部門を経て、海外製 3DCG ソフトのテクニカルサポートやコラム執筆を担当。mars inc.に所属し、ミュージアム系のデジタルコンテンツの制作や枠にとらわれない表現の構築に携わっている。

授業計画	1	課題 1
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	課題 2
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	課題 3
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・寸評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	CGIV	担当教員	土井貴一郎
-----	------	------	-------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	3DCG ソフト Blender を使用して 3DCG 概要から、モデリング、マテリアルの設定、テクスチャリング、ライティング、カメラアングル、アニメーション等、順を追って 3DCG を総合的に演習します。
到達目標	3DCGの基礎を理解し、形状や各種設定を的確に行える総合的な習得を目標とします。 グラフィックデザインに 3DCG を取り入れる手法や、多様化するデジタルコンテンツへの応用等、柔軟な発想力の向上を併せ持ったデザイナーの育成を目指します。
評価方法	出席状況、授業に対する姿勢、課題の提出状況や完成度に応じて評価します。
テキスト 参考書等	適時指導
教員略歴	3DCG デザイナー/国産 3DCG ソフトの開発、制作部門を経て、海外製 3DCG ソフトのテクニカルサポートやコラム執筆を担当。mars inc.に所属し、ミュージアム系のデジタルコンテンツの制作や枠にとらわれない表現の構築に携わっている。

授業計画	1	前期の復習
	2	前期の復習
	3	最終課題
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・寸評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	WebⅢ	担当教員	吉寄調
-----	------	------	-----

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	ノーコードWebサイト制作ツールSTUDIOの操作方法を学びます。 HTMLやCSSを使用したコーディングは行いませんが、STUDIOを通してWebについての基礎知識を学ぶことで、自らのデザインの可能性を広げます。
到達目標	ノーコードWebサイト制作ツールSTUDIOの操作方法を習得すること。 印刷物とWebの違いを知ること。
評価方法	ツールの習得度、企画力、プレゼンテーション力に加え、出席状況、授業態度を加味して総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	株式会社ファイブ ウェブディレクター／ウェブエンジニア／1988年長崎生まれ。長崎大学工学部環境システム工学科卒業。福岡デザイン専門学校総合デザイン科卒業。2016年株式会社ファイブに入社。「ちょうどよさ」を軸に、ウェブを中心としたクリエイティブ全般に携わる。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	ウェブサイトの概要
	3	STUDIO の操作方法と演習
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	STUDIO 制作実践
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・まとめ・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	WebⅣ	担当教員	吉寄調
-----	------	------	-----

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	ノーコードWebサイト制作ツールSTUDIOの操作方法を学びます。 HTML や CSS を使用したコーディングは行いませんが、STUDIO を通して Web についての基礎知識を学ぶことで、自らのデザインの可能性を広げます。
到達目標	STUDIOを使用し、自らをPRするためのポートフォリオサイトを作成すること。 Web サイトの目的に適したコンテンツを考えられるようになること。
評価方法	ツールの習得度、企画力、プレゼンテーション力に加え、出席状況、授業態度を加味して総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	株式会社ファイブ ウェブディレクター／ウェブエンジニア／1988 年長崎生まれ。長崎大学工学部環境システム工学科卒業。福岡デザイン専門学校総合デザイン科卒業。2016 年株式会社ファイブに入社。「ちょうどよさ」を軸に、ウェブを中心としたクリエイティブ全般に携わる。

授業計画	1	ポートフォリオサイト制作
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	中間発表・まとめ・講評
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・まとめ・講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	アート表現Ⅲ	担当教員	永井直仁
-----	--------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	平面表現 立体表現 体感表現など自らのアイディアに適した方法を実践し課題を通して再現を試みる事で思考できる対応力、探究心を向上させる。
到達目標	素材、技法を使い分け、予想図や自己表現の制作物を表現来ること。
評価方法	授業への取り組み 提出課題
テキスト 参考書等	各種素材の練習 自主制作プリント
教員略歴	デザイナー、ディレクター／油画、インテリア空間設計を学び、total design laboratory calm 設立。建築パース、店舗デザイン、グラフィックイラストなどに携わる。オリジナル家具やプロダクトのデザイン、セレクトショップの lifestyle shop 運営、ディレクションを行う。

授業計画	1	素材研究-1(ドローイング)
	2	〃
	3	講評会
	4	素材研究-2 (野外実習・スケッチ)
	5	〃
	6	講評会
	7	素材研究-3 (ミクスト・メディアによる表現)
	8	〃
	9	講評会
	10	平面制作-1
	11	〃
	12	講評会
	13	課題制作-2
	14	〃
	15	講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	アート表現Ⅳ	担当教員	永井直仁
-----	--------	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	平面表現 立体表現 体感表現など自らのアイディアに適した方法を実践し課題を通して再現を試みる事で思考できる対応力、探究心を向上させる。
到達目標	素材、技法を使い分け、予想図や自己表現の制作物を表現来ること。
評価方法	授業への取り組み 提出課題
テキスト 参考書等	各種素材の練習 自主制作プリント
教員略歴	デザイナー、ディレクター／油画、インテリア空間設計を学び、total design laboratory calm 設立。建築パース、店舗デザイン、グラフィックイラストなどに携わる。オリジナル家具やプロダクトのデザイン、セレクトショップの lifestyle shop 運営、ディレクションを行う。

授業計画	1	素材研究-4（ミクスト・メディアによる表現 2）
	2	〃
	3	講評会
	4	素材研究-5（野外実習・スケッチ）
	5	〃
	6	講評会
	7	素材研究-6（ミクスト・メディアによる表現 3）
	8	〃
	9	講評会
	10	イラスト制作-3
	11	〃
	12	講評会
	13	課題制作-4
	14	〃
	15	講評会

[福岡デザイン専門学校]

科目名	タイポグラフィⅢ	担当教員	山田英二
-----	----------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	タイポグラフィ全般の基礎と応用を、デザイン課題を通して講評。
到達目標	実践の現場で通用する技術の習得。
評価方法	出席日数、課題内容を評価する。
テキスト 参考書等	TDC 年鑑 JAGDA 年鑑 ADC 年鑑 他
教員略歴	アートディレクター、グラフィックデザイナー／東京にて1998年「ウルトラグラフィックス」を設立。グラフィックデザインをはじめ、広告・コマーシャル、商品企画開発、ネットサービスの運営など業種の垣根なく活動。TDC 金賞や NYADC 銀賞など入賞・入選多数。

授業計画	1	タイポグラフィとは。（レクチャー）
	2	円と直線によるタイポ制作（実技）
	3	アルファベット制作（実技）
	4	〃
	5	〃
	6	プライベートロゴ制作と展開（実技）
	7	〃
	8	フリータイポグラフィ制作（実技）
	9	〃
	10	〃
	11	各専攻課題のアドバイス（個別レクチャー）
	12	コンペティション（TDC）ポスター制作（実技）
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	タイポグラフィⅣ	担当教員	山田英二
-----	----------	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	タイポグラフィ全般の基礎と応用を、デザイン課題を通して講評。
到達目標	実践の現場で通用する技術の習得。
評価方法	出席日数、課題内容を評価する。
テキスト 参考書等	TDC 年鑑 JAGDA 年鑑 ADC 年鑑 他
教員略歴	アートディレクター、グラフィックデザイナー／東京にて1998年「ウルトラグラフィックス」を設立。グラフィックデザインをはじめ、広告・コマーシャル、商品企画開発、ネットサービスの運営など業種の垣根なく活動。TDC 金賞や NYADC 銀賞など入賞・入選多数。

授業計画	1	アテンションサイン制作（実技）
	2	〃
	3	〃
	4	レコードジャケット カバー制作（実技）
	5	〃
	6	〃
	7	レコードジャケット 歌詞カード制作（実技）
	8	〃
	9	〃
	10	レコードジャケット 販促ポスター制作（実技）
	11	各専攻課題のアドバイス（個別レクチャー）
	12	仮想会社の V.I.制作（実技）
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	アニメーションⅢ	担当教員	内田文子
-----	----------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	時間軸（フレーム）の概念とその中に展開するストーリーの構築などアニメーションの基礎知識を習得するとともに、発想から完成（プレゼン）までの自立的発展と自己表現の確立を目指します。
到達目標	急速に変化していく映像メディアの環境の中の一部にあるアニメーション表現を、商業デザインとしてまたはアートとして適正に応じ発想力・企画力・表現力を発揮できる創造性豊かな人材育成を目指します。
評価方法	練習問題の理解度、応用課題の達成度。出席状況、授業態度 これらを総合的に判断し、評価します。
テキスト 参考書等	必要時解説プリント配布
教員略歴	デザイン専門学校卒業後、広告デザイン・イラスト・映像制作を専門に活動。 スーパーロケットプロジェクト主催。（映像、アニメーション、建築）

授業計画	1	自由課題（コンペ等）
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	発表・講評
	8	動画でのポートフォリオ作成
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	発表・講評・まとめ

[福岡デザイン専門学校]

科目名	しくみ・企画演習Ⅳ	担当教員	篠原 蘭
-----	-----------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	実際のクライアントワークに近い形での実習を行います。どんな企画や内容が効果的なのか？制作に必要な情報収集、惹きつけられるコンテンツの研究を経て、企画書を制作します。
到達目標	意図や狙いのある企画を立てられるようになる／説明やプレゼンができるようになる／企画の良し悪しを判断できるようになる／企画～制作の中で自分の得意な・好きな役割を認識する／デザインの前段階である企画の部分を体験することでデザインへの解像度を上げる。
評価方法	出席、授業への参加度と、チーム内の役割についての任務遂行度、課題に対する取り組み態度を総合的に評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	京都造形芸術大学を卒業後、印刷会社の企画営業職を経て、2016年東京ピストルに入社。編集者としてアートブック・広報ツール・WEBの制作やSNSの運用など幅広く担当。2019年からTISSUE Inc./フリーランスの編集者として活動開始。

授業計画	1	観察・情報収集
	2	魅力的なコンテンツ・企画とは？さまざまなコンテンツを意識的に見て考える
	3	観察と情報収集・リサーチの結果、どんな企画を立てるか？アイデア出し
	4	編集会議① 企画の発表～意見交換。採用アイデアを絞り、担当班をつくる
	5	アイデアを深めるための追加リサーチとアイデア出し
	6	どんな内容をどんな切り口でどんな見せ方にするのか？資料やイメージにまとめる
	7	編集会議② 班ごとに制作経過（企画アイデア、方向性）を発表、情報共有
	8	制作① 企画をブラッシュアップ、企画説明用のイメージを制作
	9	〃
	10	編集会議③ 班ごとに制作経過（企画説明用イメージ）を発表、情報共有
	11	制作② 企画説明用のイメージのブラッシュアップ／企画書作り
	12	〃
	13	編集会議④ 企画書を用いてプレゼン発表
	14	制作③ プレゼンに向け制作・準備
	15	プレゼン／講評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	地域デザインⅡ	担当教員	江副直樹
-----	---------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門選択		

授業概要	しくみデザインとは、前提を疑い、常識を飛び越え、ルールを再解釈し、クリエイティブを活用してイノベーションを起こす作法のこと。講師がプロデュースした多様なプロジェクトの深掘りを通して、またそこから起こる活発な議論によって、しくみデザインのなんたるかを体感し、思考力を高め、その真髄を学ぶ。
到達目標	プロデューサーの育成、またはプロデューサー的人材の育成をめざす。
評価方法	出席状況、課題評価、授業態度などの総合評価。授業態度については、講義への理解度に加え、熱意、集中力、発言意欲、質問創出などを評価の基軸に置き、教員補助を行うことで、プレゼン力の重要性を認識し、その実践を通じ体得する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	プロデューサー、クリエイティブディレクター／1997 年商品開発と広報計画を柱とする事業プロデュースの会社、ブンボ設立。農業、商業、工業、観光、地域活性など多分野の多様なクライアントに対する、コンセプト重視の事業戦略提案とその実現が主な仕事。大阪芸術大学客員教授。

授業計画	1	自己紹介。授業ガイダンス。こんな風な授業をしようと思う。
	2	しくみデザイン入門 1。そもそもに遡り、ホントにそうかと疑う。
	3	しくみデザイン入門 2。常識を飛び越え、新たなルールを考える。
	4	教員補助として学ぶケーススタディ 1
	5	ケーススタディ 2
	6	ケーススタディ 3
	7	ケーススタディ 4
	8	ケーススタディ 5
	9	ケーススタディ 6
	10	教員補助として学ぶ企画演習+自由討論 1
	11	企画演習+自由討論 2
	12	企画演習+自由討論 3
	13	企画演習+自由討論 4
	14	企画演習+自由討論 5
	15	振り返り。総括。各自が授業の思い出を語る。

[福岡デザイン専門学校]

科目名	リノベーションデザインⅠ	担当教員	寒竹美佐子
-----	--------------	------	-------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	ダイニングキッチンなど部分的なリフォームから間取り全体の変更、さらにはバリアフリーへの対応など、それぞれの住まい方、過ごし方を重視した提案を重ね、ポイントを学んでいく。
到達目標	主に住宅のリフォームに関しての知識・設計手法を学ぶ。
評価方法	
テキスト 参考書等	インテリアコーディネート技法 インテリアの計画と設計 各種カタログ・サンプル帳
教員略歴	インテリアディレクター、トータルカラーアナリスト／株式会社 ZephyrDesign 代表取締役。住まい・商業空間等のインテリアデザイン及び施工業務、モデルルームのトータルプロデュース・売上 UP の空間コンサルティング等、空間デザインに関する業務全般を手がける。

授業計画	1	建物の構法によるリノベーションの注意点などの説明
	2	間取りの検討・作図
	3	〃
	4	動線などの寸法検討・チェック・作図
	5	造作家具などの配置・作図
	6	設備機器（キッチン・洗面・トイレ・UB など）の機器選定と作図
	7	商品詳細選定・エレメントコーディネート
	8	〃
	9	プレゼンボード作成
	10	〃
	11	バリアフリー・福祉住環境についてのポイントや注意点の説明
	12	図面での検証・作図
	13	商品選定・検討
	14	プレゼンボード作成
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	演出デザイン	担当教員	寒竹美佐子
-----	--------	------	-------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	主に照明を用いた、住空間、商空間、展示空間などの効果的な演出方法、色彩の知識や効果、海外にも通用する日本の美意識を学ぶ。
到達目標	人々を魅了する、光や音、色彩、しつらえ、心に響く演出を探る。
評価方法	
テキスト 参考書等	インテリアコーディネート技法 インテリアの計画と設計 各種カタログ・サンプル帳
教員略歴	インテリアディレクター、トータルカラーアナリスト／株式会社 ZephyrDesign 代表取締役。住まい・商業空間等のインテリアデザイン及び施工業務、モデルルームのトータルプロデュース・売上 UP の空間コンサルティング等、空間デザインに関する業務全般を手がける。

授業計画	1	日本の美意識
	2	〃
	3	〃
	4	住空間の演出
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	商空間の演出
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	展示空間の演出
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	リノベーションデザインⅡ	担当教員	家藤康德
-----	--------------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	町興しを背景にした、既存の建物や空間の再生プロジェクト、ニーズに合わせた有効活用など、リノベーションの企画から設計まで幅広く実習する。
到達目標	古民家をカフェやホテルに改装するなど、用途変更の知識・設計手法を学ぶ。
評価方法	企画立案から空間デザイン・プレゼンまでの流れで評価する。
テキスト 参考書等	商店建築等 店舗のディテール 商業建築企画設計資料集成
教員略歴	福岡デザイン専門学校研究科修了後、デザイン事務所にて建築や店舗の設計・デザインに従事。2005年に「アンダースコープデザインオフィス」を設立。現在、飲食、物販、医院、スタジオ、オフィス、ショールーム、住宅など、様々な空間作りを行っている。

授業計画	1	飲食店のリノベーション①
	2	企画立案
	3	プランニング
	4	〃
	5	〃
	6	CG 作成
	7	〃
	8	〃
	9	プレゼンテーション
	10	〃
	11	飲食店のリノベーション②
	12	企画立案
	13	CG 作成
	14	〃
	15	プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	建築設計Ⅲ	担当教員	佐野正樹
-----	-------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	主に公共建築（学生寮・コミュニティセンター）について設計作業を行う。課題説明後、資料収集、エスキス、模型などを進め、プレゼンテーションと批評を行う。
到達目標	建築の全体を実体として把握し、設計課題を通じて、建築についての自分のアイデアをどのように3次元の空間として具体化していくのか、そのプロセスを体験する。公共建築の設計に関する知識を養い、技術を向上させ理解を深める。
評価方法	
テキスト 参考書等	建築設計資料集成
教員略歴	一級建築士／（株）乃村工藝社、ベルラーヘ・インスティテュート・アムステルダム、（株）山本理顕設計工場を経て、2003年AL architects 設立。戸建住宅やケアハウスなどの建築設計に携わる。／主な賞歴:第18回福岡県美しいまちづくり建築賞 住宅の部 大賞など。

授業計画	1	美術館の設計・課題説明・与件の整理
	2	資料収集・プランニングと知識
	3	図面の作図（平面・立面・断面等）
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	図書館の設計・課題説明・与件の整理
	8	資料収集・プランニング
	9	図面の作図（平面・立面・断面等）
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃 模型・パース製作
	14	〃
	15	〃 プレゼンテーションと批評

[福岡デザイン専門学校]

科目名	建築設計Ⅳ	担当教員	植村明広
-----	-------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	各自が設定するテーマに沿った設計課題を行います。資料収集、エスキス、模型製作などの設計作業を進め、終了時にプレゼンテーションと批評を行います。
到達目標	明快なコンセプトとそのアイデア展開、精度の高い図面とパース技術の向上、デザインプロセスを的確に説明できるプレゼンテーションの向上を目指します。
評価方法	
テキスト 参考書等	建築設計資料集成 [総合編] プリント配布
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	資料収集、敷地調査
	2	基本構想（資料分析、コンセプトの策定）
	3	プランニング
	4	〃
	5	アイデア展開
	6	〃
	7	プランの図面化、模型製作
	8	中間チェック
	9	プランニング
	10	〃
	11	アイデア展開
	12	〃
	13	模型製作
	14	〃
	15	〃 プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	パブリックスペースデザイン	担当教員	齊藤一輝
-----	---------------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	住宅のエクステリアから公共建築などの外構、公園やまちに大小様々に点在するパブリックスペース、景観を作り出すランドスケープ・ウォータースケープまで幅広く、何が求められ、何が必要か、目的をしっかりとらえた、みんなの集まる場をデザインする。
到達目標	パブリックを広義にとらえ、外部空間全般の基礎知識とデザイン・設計手法を学ぶ。
評価方法	出席状況、作品、企画書、レポート、プレゼンテーションを総合評価する。
テキスト 参考書等	エクステリアデザインのポイント パブリックスペースのつくり方 ランドスケープ&ウォータースケープ
教員略歴	株式会社ランドスケープむら代表。ランドスケープデザイナー／まち並みやオープンスペース等の景観設計、都市の緑化計画、環境保全、住民参加のまちづくりの企画・運営等、トータルなランドスケープデザインを行っている。

授業計画	1	住宅のエクステリア計画
	2	〃 （樹木について）
	3	〃 図面作成
	4	〃 パース作成
	5	パブリックスペースの計画
	6	〃 （コモン・パブリックについて）
	7	〃 図面作成
	8	〃 パース作成
	9	公園の再計画 現地調査・問題点の把握
	10	〃 （外構設備・家具について）
	11	〃
	12	ランドスケープの計画
	13	〃
	14	〃 図面作成
	15	〃 パース作成

[福岡デザイン専門学校]

科目名	図面演習	担当教員	全教員
-----	------	------	-----

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	卒業制作で書くプレゼンテーション用の図面を実施図面を想定して、できる限り詳細に書いていくことで、構造、ディテール、材料など多岐にわたり知識を深めていく。
到達目標	卒業制作で作成した図面の完成度を高める。
評価方法	出席状況、作品を総合評価する。
テキスト 参考書等	各自で必要に応じて揃えること。
教員略歴	

授業計画	1	詳細な図面の作図
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	モデリング演習	担当教員	全教員
-----	---------	------	-----

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	模型は、コンセプトやイメージの伝え方、見せ方や表現方法を模索しながら制作する。CG パースは、よりリアルに表現することで、空間の雰囲気や色彩、素材感、ライティングなど詳細に検討していく。
到達目標	卒業制作の模型や CG パースのクオリティを上げる。
評価方法	出席状況、作品を総合評価する。
テキスト 参考書等	各自で必要に応じて揃えること。
教員略歴	

授業計画	1	模型・CG パースの作図
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	プロダクトデザインⅢ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	------------	------	-----------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	商品企画を行う中で生産性やコストを学習し、人間工学やユーザー工学、マーケティングやプロモーションの知識を身につける。コンペティションや産学連携のプロジェクトにおいて、デザインを外部に発信していく力を身につける。
到達目標	産業や地域・社会との関わりを考え、より実践的にアイデアの商品化、ブランディングができる力を身に付けること。また、素材や加工についての知識を深めることで、精度が高いプロトタイプの製作能力や現実的なデザイン提案ができる力を養うこと。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	プロダクトデザインのための製図 エコデザインハンドブック ドローイング・モデリング
教員略歴 (主指導)	安田大信：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	課題説明
	2	コンセプトワーク
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	プロトタイプ制作
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	プレゼンボード制作
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	家具デザインⅢ	担当教員	品川武士
-----	---------	------	------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	自分の感覚を自己分析して、社会に出ても失われない想像力を養う。数多くのエスキースと、スタディ模型を制作し、形、機能の検証を行いながらデザインを展開する。
到達目標	アイデアを商品化するまでのプロセスを身につける。 企画力・プロデュース力を含めたトータルなデザイン力をつける。
評価方法	発想力・企画力を含めたトータルなデザイン力で評価。
テキスト 参考書等	随時プリント配付
教員略歴	プロダクトデザイナー、家具デザイナー／株式会社木季工房を経て、2006年シナガワデザインスタジオ設立。メーカーへの家具デザインや特注家具のデザイン設計・プロダクトデザイン・アートディレクションを手がける。

授業計画	1	デザインの原則（講義）
	2	（課題）ソファのデザイン
	3	アイデアスケッチ
	4	スタディ模型での検討
	5	段ボールなどで原寸検討
	6	1/5 模型製作
	7	〃 プレゼンパネル製作（図面を含む）
	8	〃 〃
	9	講 評
	10	卒業制作
	11	各自のアイデアのヒアリング
	12	アイデアスケッチ
	13	〃
	14	〃
	15	各自がスケジュール制作（講師がチェックする）

[福岡デザイン専門学校]

科目名	素材・加工演習Ⅱ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	----------	------	-----------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	立体物のデザインに不可欠な素材の特性および加工法に関する知識を習得することを目的とする。シリコンおよび金属の加工技術を各課題を通じて実践的に習得するとともに、デザインの要件に応じて石膏、3Dプリンター、レーザーカッターを用いた造形技術も習得する。
到達目標	手を動かし、実素材に触れながら、素材の特性や加工方法を学び、デザイン・制作の幅を広げることを目標とします。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	素材加工辞典
教員略歴 (主指導)	中嶋尚孝：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。美術系予備校、大学、短大などで、デッサンや立体構成、平面構成、金属工芸など指導。鑄造作品（ブロンズ、ステンレス）の制作。彫刻、モニュメント、聖火台、プロダクトデザイン、住宅、空間デザインなどの企画、制作を手掛ける。

授業計画	1	課題①
	2	シリコンの種類と特性
	3	鑄物の製造方法と特性
	4	シリコン型の制作
	5	〃
	6	ピューターの鑄造
	7	ピューターの仕上げ
	8	〃
	9	課題②
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	素材・加工演習Ⅲ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	----------	------	-----------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	素材加工演習Ⅰ・Ⅱで習得した知識と技術を基に、卒業制作の模型制作に取り組む。
到達目標	アイデアの特性に合わせて素材を選定、適切に加工し、模型を完成させる。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	素材加工辞典
教員略歴 (主指導)	中嶋尚孝：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。美術系予備校、大学、短大などで、デッサンや立体構成、平面構成、金属工芸など指導。鑄造作品（ブロンズ、ステンレス）の制作。彫刻、モニュメント、聖火台、プロダクトデザイン、住宅、空間デザインなどの企画、制作を手掛ける。

授業計画	1	課題（卒業制作）
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	空間家具演習Ⅱ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	---------	------	-----------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	家具は、空間における印象を規定する主要な構成要素の一つです。特定の使用環境を前提とし、人体寸法や動作特性に基づく人間工学的知見を活用して、家具の設計・デザインを行います。
到達目標	想定した空間に合わせた、美しく機能的な家具のデザインができること。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	安田大信：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	課題 1
	3	〃 模型制作
	4	〃
	5	〃
	6	〃 図面製作
	7	〃
	8	〃
	9	〃 講評会
	10	課題 2
	11	〃 コンセプトワーク
	12	〃 模型制作
	13	〃 図面・プレゼンボード制作
	14	〃 講評会
	15	課題 3

[福岡デザイン専門学校]

科目名	製図演習Ⅲ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	-------	------	-----------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	家具デザインの授業と連携し、製図技術を習得することを目的とする。「製図演習Ⅰ・Ⅱ」で培った知識と技能を基盤とし、家具の詳細図面の作成とパース表現技術の向上に取り組む。
到達目標	第三者に正確に形状やサイズを伝える技術を習得すること。 スケッチパースでアイデア明確に伝える技術を習得すること。
評価方法	課題に対して正確な作図ができているか。 スケッチパースで的確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	中嶋尚孝：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。美術系予備校、大学、短大などで、デッサンや立体構成、平面構成、金属工芸など指導。鑄造作品（ブロンズ、ステンレス）の制作。彫刻、モニュメント、聖火台、プロダクトデザイン、住宅、空間デザインなどの企画、制作を手掛ける。

授業計画	1	オリエンテーション
	2	製図課題1（スケッチパース）
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃（三面図）
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	製図課題2（スケッチパース）
	11	〃
	12	〃
	13	〃（三面図）
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	デジタルモデリングⅢ	担当教員	中嶋尚孝・安田大信
-----	------------	------	-----------

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	プロダクトデザイン課題に基づき、コンピューターを用いたプレゼンテーションボードの作成技術を習得することを目的とする。「デジタルモデリングⅠ・Ⅱ」で修得した基礎的な表現技法を応用し、より高度なプレゼンテーション能力の向上を図る。
到達目標	正確なモデリング技術、フォトライクなレンダリング技術、加工技術を身に付けること。 プレゼンテーションボードを明快に制作することができること。
評価方法	課題に対して的確なモデリングができているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴 (主指導)	安田大信：本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	操作の復習とサーフェスモデリング
	2	モデリング課題 1
	3	〃 ライノセラス (モデリング)
	4	〃
	5	〃 ライノセラス (レンダリング)
	6	〃 フォトショップ
	7	〃 イラストレーター
	8	〃 課題提出 プレゼンテーション
	9	モデリング課題 2
	10	〃 ライノセラス (モデリング)
	11	〃
	12	〃 ライノセラス (レンダリング)
	13	〃 フォトショップ
	14	〃 イラストレーター
	15	〃 課題提出 プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	制作図面演習	担当教員	全教員
-----	--------	------	-----

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専門応用		

授業概要	卒業制作を通じて、これまでに培った知識と技術を基に、集大成としての詳細な図面を作成する。
到達目標	全体の形状だけではなく、部品の寸法や素材まで図示し、実務で十分に使用できる図面を作図すること。
評価方法	アイデアの新規性があるか、課題に対して的確に表現できているか。 プレゼンテーションでの確にデザインが伝えられているか。 上記に加え、出席状況も加味し、総合評価する。
テキスト 参考書等	各自で必要に応じて揃えること。
教員略歴	

授業計画	1	製図課題（卒業制作）
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	自主研究Ⅲ	担当教員	全教員
-----	-------	------	-----

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	特別研究		

授業概要	各自のテーマに沿って、デザイン的手法での解決方法を探り、作品制作、企画書、レポート制作、プレゼンテーションを実施する。
到達目標	各自の抱えるテーマや、社会の抱える様々な問題を深く掘り下げ、デザイナーとしての自主性、計画性、実行力を身につけ、果たす役割と社会性を理解する。
評価方法	出席状況、作品、企画書、レポート、プレゼンテーションを総合評価する。
テキスト 参考書等	各自で必要に応じて揃えること。
教員略歴	

授業計画	1	オリエンテーション
	2	各自、計画に沿って進める
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーションと総括

[福岡デザイン専門学校]

科目名	総合造形Ⅲ	担当教員	全教員
-----	-------	------	-----

学 年	3	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	特別研究		

授業概要	学生それぞれの専攻に必要な造形力を身に付ける過程の中で、発想・展開・表現を追求しながら自己のテーマを探る。連続した課題の中で、忍耐が楽しみに変わるまでこだわる。
到達目標	基礎的な造形力と展開力を身につける。 生活のありふれた中に転がっている造形のヒントに気付くようになる。 モノ、コトを考えることが生活習慣になる。
評価方法	着眼点の独自性と発想のユニークさ。 提出作品の完成度。 制作過程における閃き、柔軟性、展開力、集中力、こだわりを総合的に判断する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	

授業計画	1	課題①
	2	コンセプトワーク
	3	〃
	4	〃
	5	クリティーク
	6	課題②
	7	コンセプトワーク
	8	〃
	9	〃
	10	クリティーク
	11	課題③
	12	コンセプトワーク
	13	〃
	14	〃
	15	クリティーク

[福岡デザイン専門学校]

科目名	プレゼンテーション演習	担当教員	全教員
-----	-------------	------	-----

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	特別研究		

授業概要	クライアントに説明する場面を想定しての資料作りやプレゼンテーションの練習、全てをわかりやすく、イメージよくまとめていく中で、情報整理の力や伝える力を養う。
到達目標	卒業制作の伝えるプレゼンテーションから見せるプレゼンテーションまで、第三者を意識した表現を考える。
評価方法	出席状況、作品、企画書、レポート、プレゼンテーションを総合評価する。
テキスト 参考書等	各自で必要に応じて揃えること。
教員略歴	

授業計画	1	プレゼン資料の作成
	2	〃
	3	〃
	4	プレゼンテーション
	5	プレゼン資料の作成
	6	〃
	7	〃
	8	プレゼンテーション
	9	プレゼンボードなどの作成
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	卒業制作	担当教員	専任教員
-----	------	------	------

学 年	3	開講時期	後 期	単位数	8 (視覚 4)
授業方法	演 習	単位区分	特別研究		

授業概要	3年間の集大成として、興味のあるテーマを決め、アイデアを展開し、プレゼンテーションを行ないながら、オリジナル性の高い作品を専攻ごとに完成させる。
到達目標	今まで学んできたことの集大成として、修得した知識、技術を活かし、企画から完成まで、デザイナーとしての一連のプロセスを体験する。
評価方法	① 作品の発想、完成度 ② 取組む姿勢 ③ 出席状況などで総合的に評価する。 分野ごとの担当の全教員による合評会を行う。
テキスト 参考書等	各自、準備する。
教員略歴	

授業計画	1	説明
	2	テーマ
	3	資料収集
	4	計画・デザイン
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	中間プレゼンテーション
	9	作品制作
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	卒業制作展

[福岡デザイン専門学校]

研究デザインプログラム

《 対象学科・学年 》

イノベティブデザイン学科

科目名	テーマ研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	担当教員	全教員
-----	------------	------	-----

学 年	全学年	開講時期	前 期	単位数	各 4
授業方法	演 習	単位区分	専 門		

授業概要	各自のテーマに沿って、デザインの手法での解決方法を探り、作品制作、企画書、レポート制作、プレゼンテーションを実施する。
到達目標	各自の抱えるテーマや、社会の抱える様々な問題を深く掘り下げ、デザイナーとしての自主性、計画性、実行力を身につけ、果たす役割と社会性を理解する。
評価方法	出席状況、作品、企画書、レポート、プレゼンテーションを総合評価する。
テキスト 参考書等	各自で必要に応じて揃えること。
教員略歴	

授業計画	1	オリエンテーション
	2	各自、計画に沿って進める
	3	〃
	4	〃
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーションと総括

[福岡デザイン専門学校]

科目名	マネージメント	担当教員	全教員
-----	---------	------	-----

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専 門		

授業概要	情報化社会の発展にともない、デザインの対象領域が広がり、デザインマネジメント能力が求められている。実例をもとに、デザイン活動に関わるヒト・コト・モノ・カネなどの関連性を学ぶ。
到達目標	デザインマネジメント能力について理解。
評価方法	出席点・課題提出評価点で総合評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料より配布
教員略歴	

授業計画	1	デザインマネジメントとは
	2	実例紹介
	3	分析・理解
	4	〃
	5	〃
	6	実例紹介
	7	分析・理解
	8	〃
	9	〃
	10	課題
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	セルフプロデュースⅠ	担当教員	全教員
-----	------------	------	-----

学 年	1	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専 門		

授業概要	自分をアピールするツールの1つであるポートフォリオ。ポートフォリオとは何かを理解し、作品を整理・分類・手直しをする。相手に伝わる、わかりやすい説明、スッキリしたページ構成、作品が見やすいレイアウトなどを学びます。
到達目標	効果的なポートフォリオを完成させることを目標とします。
評価方法	ポートフォリオの完成度をもって総合的に評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料より配布
教員略歴	

授業計画	1	ポートフォリオ制作
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	中間チェック・講評会
	6	ブラッシュアップ
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	中間チェック・講評会
	11	ブラッシュアップ
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	修了研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	担当教員	全教員
-----	-----------	------	-----

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	各 4
授業方法	演 習	単位区分	専 門		

授業概要	複数のデザイン領域に関わる総合的なテーマを決め、アイデアを展開し、プレゼンテーションを行ないながら、オリジナル性の高い研究を行う。
到達目標	今まで学んできたことの集大成として、修得した知識、技術を活かし、企画から完成までデザイナーとしての一連のプロセスを体験する。
評価方法	研究の発想、完成度 取組む姿勢、出席状況などで総合的に評価する。
テキスト 参考書等	各自、準備する。
教員略歴	

授業計画	1	説明
	2	テーマ
	3	資料収集
	4	研究
	5	〃
	6	〃
	7	〃
	8	中間プレゼンテーション
	9	制作
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	展示とプレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

科目名	セルフプロデュースⅡ	担当教員	全教員
-----	------------	------	-----

学 年	1	開講時期	後 期	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専 門		

授業概要	自分をアピールするツールの1つであるポートフォリオ。ポートフォリオとは何かを理解し、作品を整理・分類・手直しをする。相手に伝わる、わかりやすい説明、スッキリしたページ構成、作品が見やすいレイアウトなどを学びます。
到達目標	効果的なポートフォリオを完成させることを目標とします。
評価方法	ポートフォリオの完成度をもって総合的に評価する。
テキスト 参考書等	必要に応じ資料配布
教員略歴	

授業計画	1	ポートフォリオ制作
	2	〃
	3	〃
	4	〃
	5	中間チェック・講評会
	6	ブラッシュアップ
	7	〃
	8	〃
	9	〃
	10	中間チェック・講評会
	11	ブラッシュアップ
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	プレゼンテーション	担当教員	全教員
-----	-----------	------	-----

学 年	全学年	開講時期	前 期	単位数	4
授業方法	演 習	単位区分	専 門		

授業概要	クライアントに説明する場面を想定しての資料作りやプレゼンテーションの練習、全てをわかりやすく、イメージよくまとめていく中で、情報整理の力や伝える力を養う。
到達目標	伝えるプレゼンテーションから見せるプレゼンテーションまで、第三者を意識した表現を考える。
評価方法	出席状況、企画書やその他成果物プレゼンテーションを総合評価する。
テキスト 参考書等	各自で必要に応じて揃えること。
教員略歴	

授業計画	1	プレゼン資料の作成
	2	〃
	3	〃
	4	プレゼンテーション
	5	プレゼン資料の作成
	6	〃
	7	〃
	8	プレゼンテーション
	9	プレゼンボードなどの作成
	10	〃
	11	〃
	12	〃
	13	〃
	14	〃
	15	プレゼンテーション

[福岡デザイン専門学校]

一般教養

科目名	実践英語	担当教員	Thomas Bazin
-----	------	------	--------------

学 年	全学年	開講時期	前 期	単位数	1
授業方法	講 義	単位区分	教 養		

授業概要	会話演習、基礎文法の確認・指導。
到達目標	英会話の基礎力の向上、日常会話が行える力をつける。
評価方法	授業態度、課題提出、1年に2回実施するテスト。
テキスト 参考書等	Language to go Elementary (Longman)
教員略歴	

授業計画	1	Self introduction
	2	Talking about people and favourite things
	3	Talking about the possessions
	4	Talking about sports you like / hate
	5	Shopping for clothes
	6	Talking about places you know
	7	Talking about how often you do things
	8	Telling someone where things are in a room
	9	Ordering food and drink in a café
	10	Asking about job skills
	11	Talking about childhood memories
	12	Talking about your week
	13	Telling a story
	14	Asking questions to find out about people's lives
	15	Talking about food you like

[福岡デザイン専門学校]

科目名	実践英語	担当教員	Thomas Bazin
-----	------	------	--------------

学 年	全学年	開講時期	後 期	単位数	1
授業方法	講 義	単位区分	教 養		

授業概要	会話演習、基礎文法の確認・指導。
到達目標	英会話の基礎力の向上、日常会話が行える力をつける。
評価方法	授業態度、課題提出、1年に2回実施するテスト。
テキスト 参考書等	Language to go Elementary (Longman)
教員略歴	

授業計画	1	Talking about future plans
	2	Asking and giving directions
	3	Describing climate and lifestyle
	4	Talking about memorable times
	5	Comparing places in your country
	6	Describing restaurants
	7	Taking and leaving messages
	8	Giving advice to visitors
	9	Talking about movies
	10	Ordering food and drink in a restaurant
	11	Asking people about their practical experience
	12	Describing jobs
	13	Making excuses
	14	Making predictions
	15	Discussing what makes a good job

[福岡デザイン専門学校]

特別実習

科目名	製 図	担当教員	安田大信
-----	-----	------	------

学 年	全学年	開講時期	隔 年	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門基礎		

授業概要	製図法を様々な小課題によって実習する。目的となる物体を紙面に表現する。図面を読む。立体的な表現方法を習得する。製図用具の使用方法、文字および線の描き方、ISO、JIS 規格に即した図面の基本的なルールを習得する。
到達目標	設計者の意図（形状・素材・機能等）を共通のルールによって、製作者に正確に伝える為には図面の知識は必要不可欠である。この授業では JIS、ISO の製図規格に即し、デザインの伝達手段としての製図の基礎を学ぶ。
評価方法	授業態度：積極的に課題に取り組んでいるか。着実な積み上げが出来ているか。 課題内容：製図用具を正しく使用し、丁寧な作図がなされているか。的確で読みやすい図面になっているか。製図法の理解度。出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	プロダクトデザインのための製図
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。本校卒業生。照明器具のデザイン・設計に携る。プロダクトや家具のデザイン等を手がける。賞歴：国際家具デザインコンペティション旭川 2014 入選など。

授業計画	1	製図器具の使用方法、線について
	2	正投影図①
	3	縮尺、寸法記入法
	4	正投影図②
	5	〃
	6	正投影図③
	7	〃
	8	断面図
	9	〃
	10	投影法
	11	〃
	12	切断
	13	〃
	14	相貫
	15	〃

[福岡デザイン専門学校]

科目名	建築構造演習	担当教員	植村明広
-----	--------	------	------

学 年	全学年	開講時期	隔 年	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	建物のあらゆる部分に何かしらの力が働いており、その力の種類、強さ、作用を知ることが、安全な建築物をつくるため、設計者にとって絶対条件である。構造力学の練習問題を解きながら、力の伝わり方などを習得する。力のモーメント、せん断力、軸力、トラス構造や断面の力、梁・ラーメン構造の応力算定、静定トラス・不静定、構造部材の応力度などを学ぶ。
到達目標	構造力学の概念及び構造設計の基本となる全体的な解法を習得する。
評価方法	2～3 回毎の小テスト及び最終テストの結果で主に採点。さらに受講態度、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	初めての建築構造力学 やさしい構造力学 2 級建築士集中テキスト
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	建築構造概要
	2	力のつりあい
	3	曲げモーメントの解法
	4	〃
	5	せん断力の解法
	6	〃
	7	軸力の解法
	8	トラス
	9	断面の力学
	10	〃
	11	応力度
	12	〃
	13	圧縮材の応力
	14	たわみの算定
	15	テスト

[福岡デザイン専門学校]

科目名	測量実習	担当教員	植村明広
-----	------	------	------

学 年	全学年	開講時期	隔 年	単位数	2
授業方法	演 習	単位区分	専門実践		

授業概要	面積や高さの様々な測量方法を知識として学び、レクチャーしたことをより深く理解するため、平板測量と水準測量の実習を行う。測量の手順や器械の操作方法はもちろんのこと、観測したデータの処理方法、求積まで実践的に行う。
到達目標	測量学の基礎を学び、ベーシックな平板などの測量機器を使って測量出来るようにし、土地の重要性を知る。
評価方法	測量方法の理解、実習での行動（段取り・手順・敏捷性・チームワーク）と測量の正確さ（同じ場所を数回測量しての誤差）で主に採点。さらに取り組む姿勢、出席状況を加味し総合評価する。
テキスト 参考書等	建築測量
教員略歴	本校専任教員。大阪芸術大学非常勤講師。商業施設士（日本商業施設士会会員）、修士（建築学）、スペースデザイナー。主にカフェなどの飲食店やブティックなどの物販店のデザイン・設計を手掛ける。中国での店舗設計や台湾での講演会の実績もある。

授業計画	1	測量学の基礎知識
	2	計算基礎
	3	測量計算について
	4	距離測量
	5	角測量について
	6	平板測量（平板とアリダードの取り扱い）
	7	〃
	8	〃
	9	水準測量（レベルの取り扱い）
	10	〃
	11	屋外での平板測量
	12	〃
	13	〃
	14	求積
	15	まとめ

[福岡デザイン専門学校]